

ネトラレ
国王

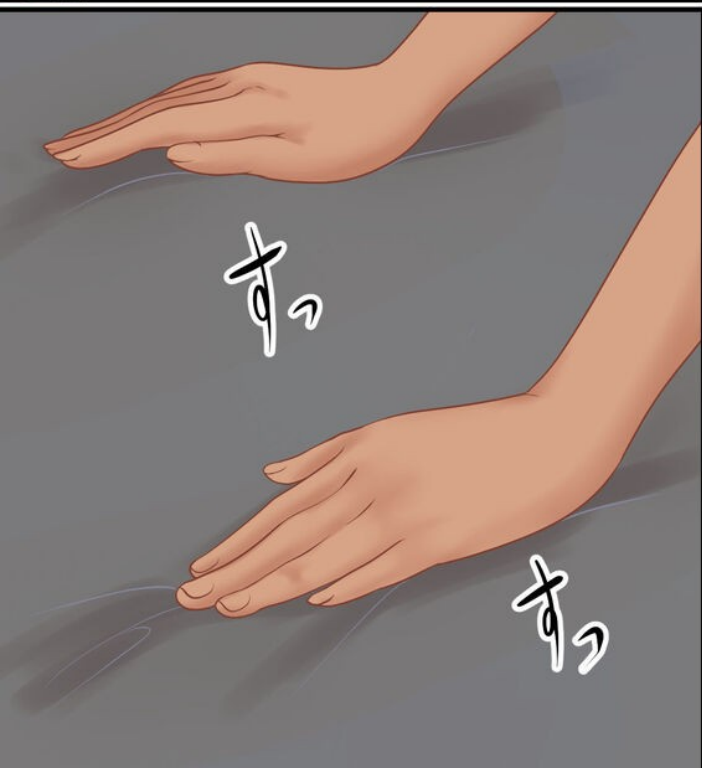


フルカラーコミック 98P

ここは人間族の治めるユグランド王国

失礼いたします。

私はリーラ。
国王カイン様と王妃シーファ様の
世話役を務める侍女のダークエルフだ。
カイン様に嫁いだ
エルフ姫シーファ様とこの国に
移住して1年になる。





ご就寝の準備、整いました。



うん、
いつもありがとうございます！



はい。
ゆっくりとお休みください
シーファ様

シーファ様は、
私の主人であり、恩人でもある。



覚醒遺伝で稀に産まれるダークエルフは、
不吉なモノとしてエルフの国では
差別扱いされる。

迫害を恐れた両親に、幼い頃に棄てられているところを、
近衛兵と城下視察をしていたシーファ様に庇護された。

ねえ、よかったら王宮にいらっしやい。
私の友達になってくれる？

ダークエルフである私にも分け隔てなく接してくれ、
専属の侍女としてのお役目まで授けてくれた。
それ以来、お側に仕え、共に成長してきた。



うむ、
ありがとうリーラ。



それでは私はこれで……



エルフの体液を経口摂取すると
人間も寿命が延びる。
私は数百年、このお二人に
仕えることになるだろう。

君もゆっくり休んでくれ。
お休み



そして、シーファ様が盟約のもと嫁いだことで
私のもう一人の主人となったカイン様

おやすみなさいませ



はいっ……！
ありがとうございます……

ふふ、リーラったら。
照れちゃって可愛い

ねえ気づいてる？あの子、
アナタに恋してしまってるわよ

そ、そうなのか？

あら鈍感。

まああの子、男性とまともに
話すこと自体が
この国に来るまでなかったからね……

抱いてあげたら
リーラも喜ぶのに

そ、それはそれで複雑だな。
僕の魅力とか関係ないじゃないか

まあ、僕には君しか
見えてないから

ふふ、国王ともあろう人が
妾の1人も作らないで。

夜伽も侍女の立派な
お務めなのですよ？

でも嬉しいわ。ワタシも女ですもの。

愛してる男性は
独り占めしたいのも本音



今夜も最高だった。
シーファもイッたかい？

う……うん



ふふ、イって照れてる
シーファはいつもすごく可愛いな



アタシも……
イッちやった……



夫婦になってもう一年。
毎晩、抱いてもらってるのに、
なかなか子を宿せなくてごめんなさい。

それは言わない約束だろう？
大丈夫、そのうちきつと授かるさ

うん…



ねっ、ねえっ！

か
バツ

もう一回だけ…っ



あ…

今夜も気持ちよくなれなかった…
私の身体、やっぱりどこかおかしいのかな…



わん…

すう…

カイン様は王としての政務をほとんど行わず、騎士としての鍛錬も怠ってばかりだと批判する重臣はいるようだが、急逝した先代国王の統治実績は素晴らしく、ユグランドは平和な日々が続いていた。



しかし、そんなある日、王国に激震が走る。

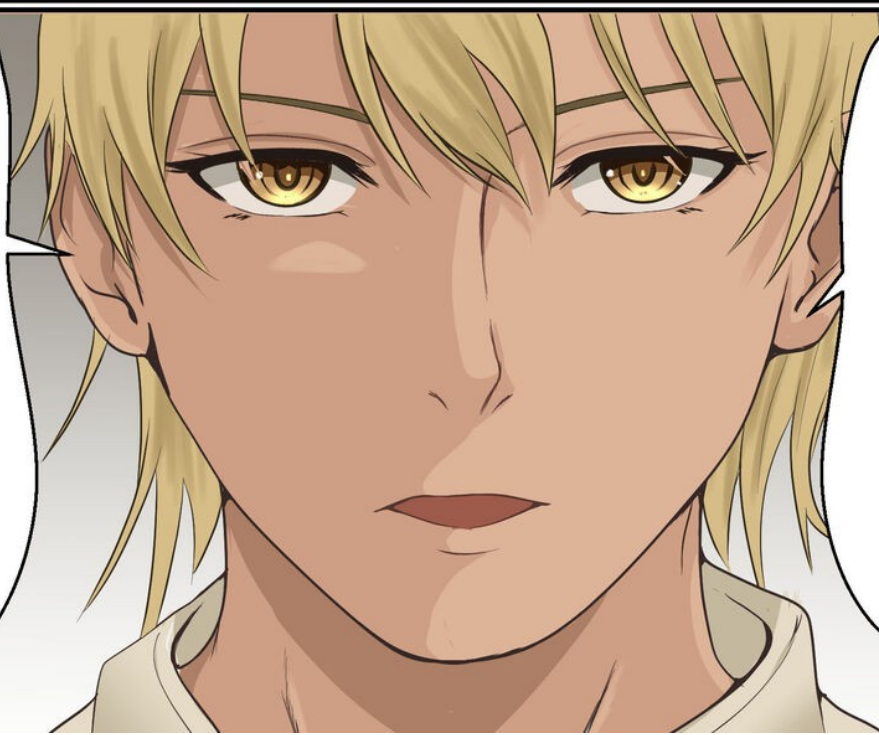
前国王の妾の子だという理由だけで不遇な扱いを受けていた第二王子ジェイス様が裏で軍部を懐柔。1夜にして、国王の座が入れ替わるクーデターが起こった。

カイン様とシーファ様は別々の部屋に軟禁されることとなった。侍女である私のみ、王族の世話係としてお二人の部屋にお仕えすることを許された。



ジェイス！
貴様、血迷ったか！

このままではこの国は早晚滅亡する



何もせずに欲しい物が全て手に入ると考えている甘ったれのお飾りだけの王には退いてもらおうぞ兄よ！



はい

そうですね、
カインは無事なのね



そう、安心しました。
それにしても兄弟による
王権争いは世の常とはいえ、
まさかこの平和な国で起こるなんて……

この近くのお部屋で軟禁されてはいますが、
さすがにジェイス様も、兄でもある人を
無下には扱わないようです。



!?

こんな時間に誰です!?



ガキ

こんばんは。シーファ

兄との婚儀でお見受けして以来だ。
相変わらず美しいな

なっ……

王妃の寝室に
無断で立ち入るなどと
不敬ですよ！

これはおかしいことを言う。
私はこの国の王になったのですよ？
この王国のものは全て私の力で手に入れたものだ

そう、あなたも含めてね

グイッ

え……!?



……。
ああ、二人の世話役の
メイドだったか？

ダークエルフか



おやめくださいジエイヌ様！
お願いします。
どうか私を代わりに……！



ダメよリーラ！
あなた、初めてでしょう！



ほう。処女か。

まあいいだろう。
兄のメイドだったのであれば、
抱いておかなければな



はい、リーラと申します。

卑しいダークエルフの身ではございますが、
メイドとして夜伽の心得は一通り
できてございますのでなんとか私で……



シーファ様！
いけません！



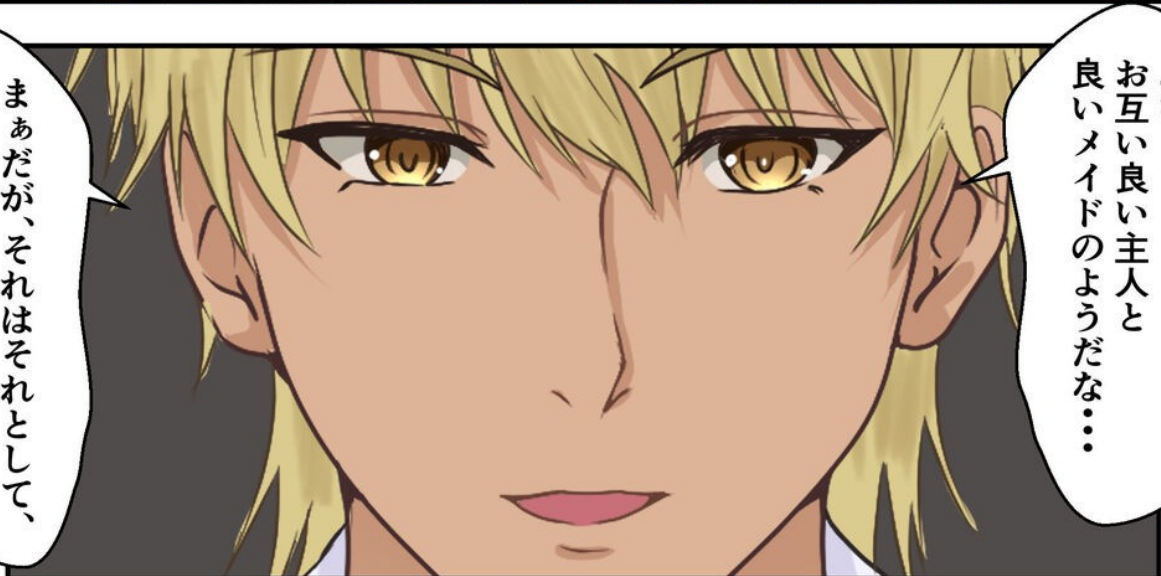
待って！

わかったわ。ジェイス様。
ワタシを抱けばいいわ



構いません。

ワタシのために
あなたが犠牲になる必要なんてないわ



ふむ……
お互い良い主人と
良いメイドのようだな……

まあだが、それはそれとして、
遠慮なく、するとしようか



ほう……？

好きでない相手なら尚更嫌です。
するなら早く終わらせてください。

言っておきますが
私はそもそも
セックスを好みません。



カインは関係ありません

ザッ

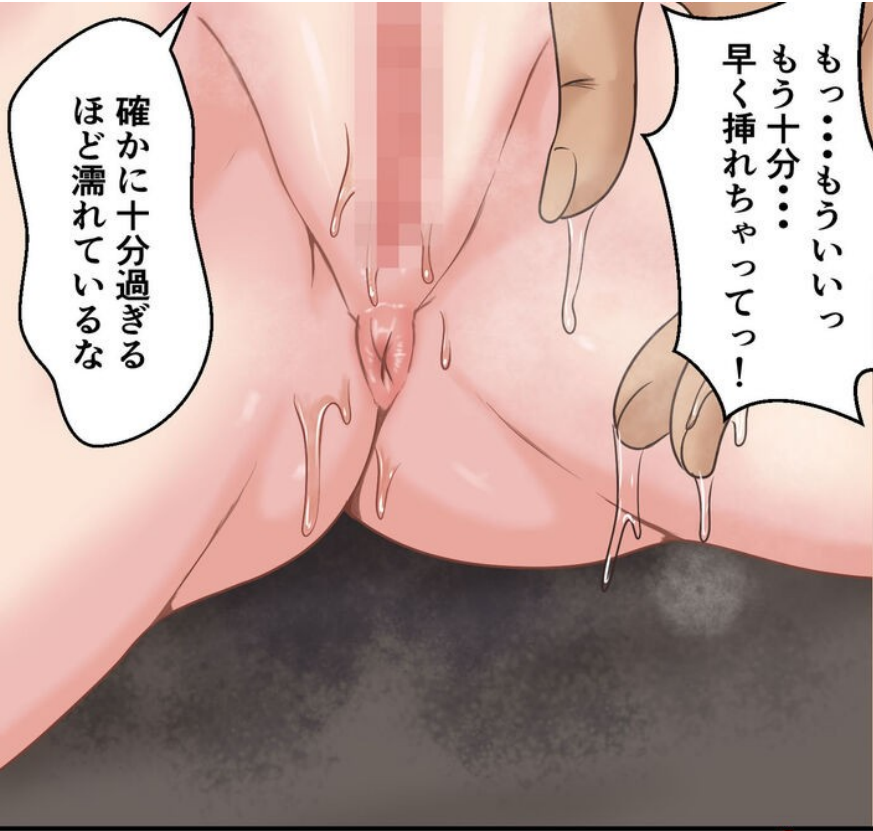


セックスを好まない？
美しい女性にそんなことを
言わせるとは。
兄貴は甲斐性が無いな。

グッ







確かに十分過ぎる
ほど濡れているな

もっ…もうららっ
もう十分…
早く挿れちゃってっ!



このまま続けられたらまずい…



良かった…
挿れちゃえば気持ちよくなるはず…

それなら俺のモノでも
すんなり受け入れられるだろう

はッ
はッ

はッ

はッ



おあ!?

一気に挿れるぞ

ズッ

びん?



え...? 何っ!?

ビクッ

お腹...貫かれた...?

ビクッ



チキッ

ぎゅっ

うそ、何これ!?!
カインのと全然違う!?!

すごい気持ちさらさらと擦られてる!!

セックスが...気持ち良い!?

くっ...これが
エルフの膣中...

なんて気持ちよさだ、
人間の女と比較ならん

しかも処女の
ような締まりだ

ひっ!!

まさか...
この人だったの...?

ぐう...!!

ぐちゃゅ

ぐちゃゅ



危なかった...

は

は

は

二階二階



まあいい。
これから毎晩、
抱きに来てやるからな

バタン



流石に久しぶりだから
直ぐに出してしまったな。

エルフの絶頂を見ることは
出来なかったか...



あなたが謝る必要
なんてないわ

それよりもこのことは
カインには内緒にして。
これ以上、あの人を傷つける
わけにはいきません。

は

は

カインはきつと王権を
取り戻すために動くわ。
それまでの辛抱よ

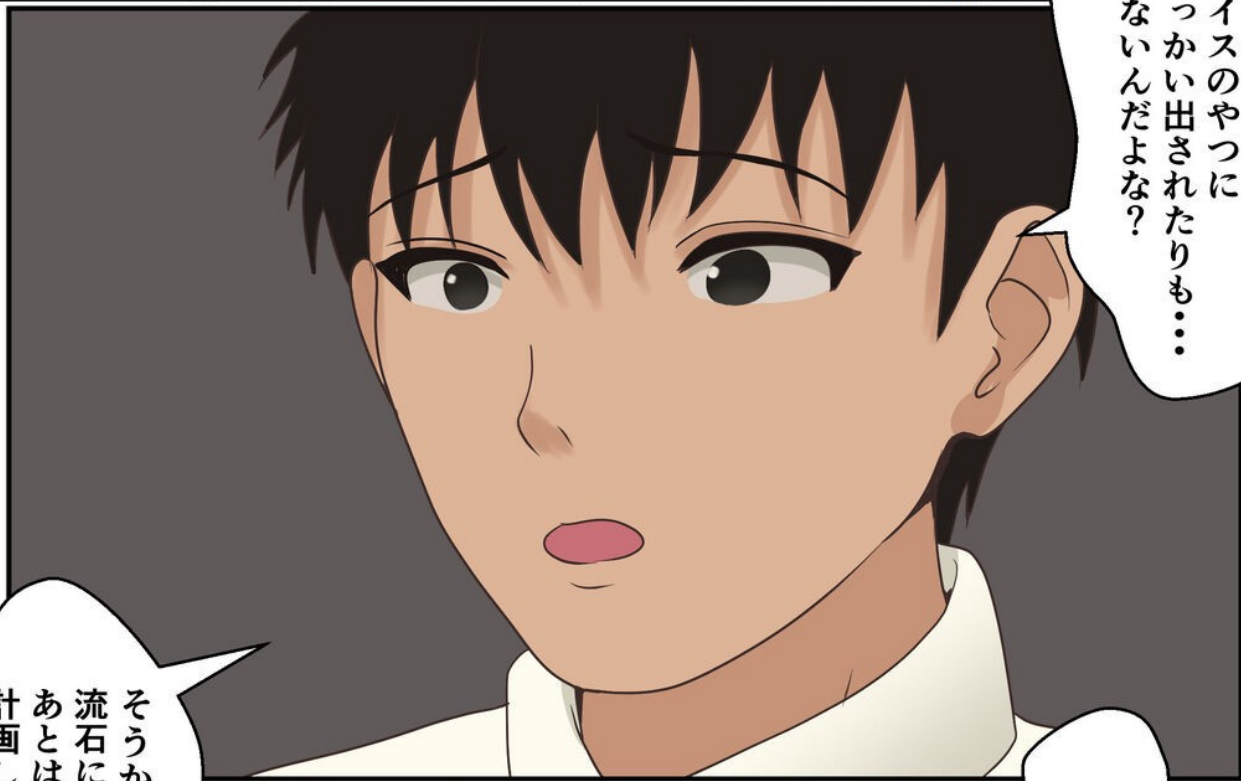


シーファ様...
私のために...
申し訳ございません。



そうか。
シーファは無事か。

。。。
ジェイスのやつに
ちよっかい出されたりも..
してないんだよな？



。。。
はい。。。

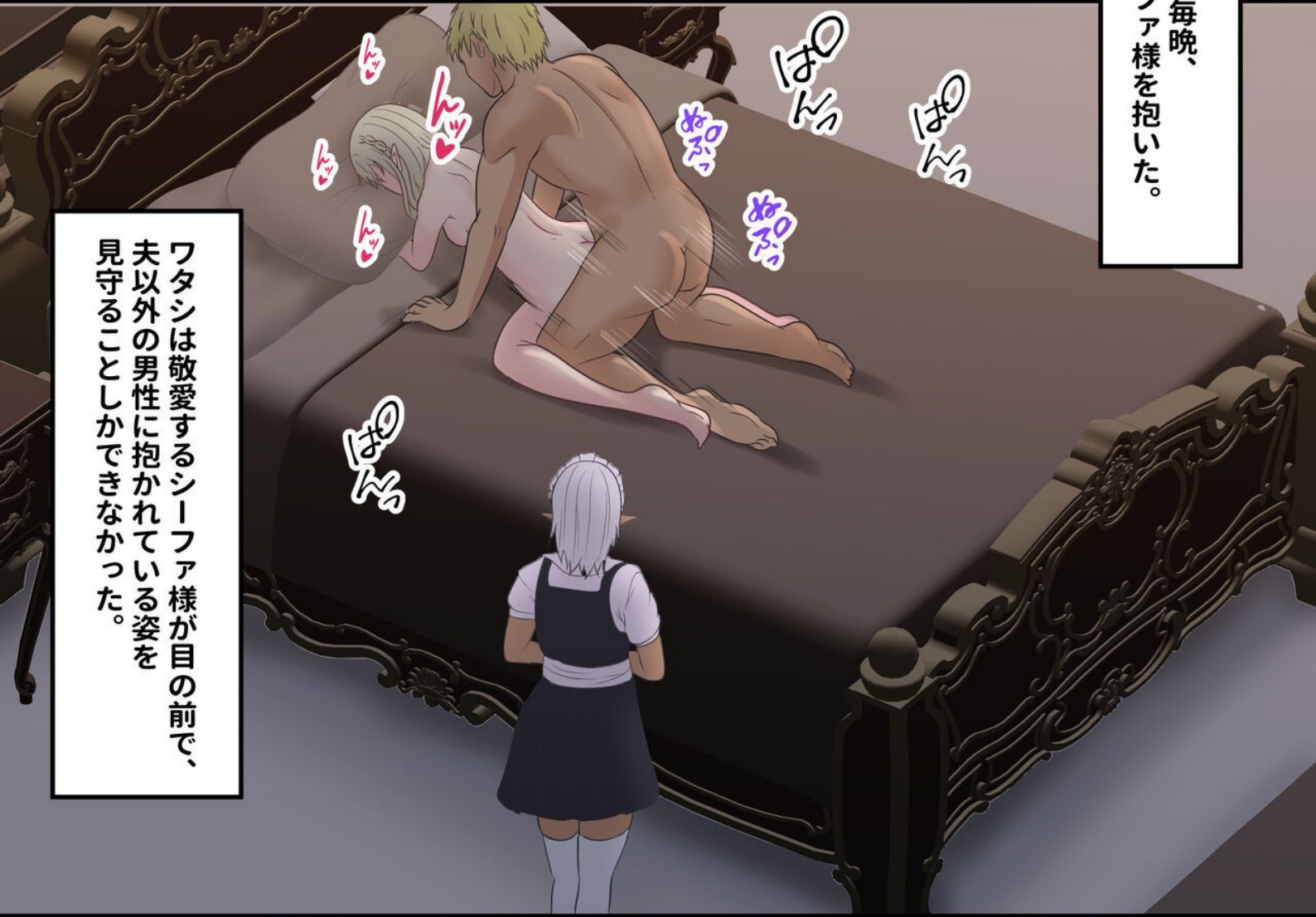
シーファ様の寝室には
私しか出入りしておりません

そうか良かった。。。
流石に王妃に手は出さんか。一安心だ
あとは重臣の誰かがきつと僕の王権の復権を
計画してくれるはずだ。。。





それからジェイス様は毎晩、
就寝前に数時間、シーファ様を抱いた。



ワタシは敬愛するシーファ様が目の前で、
夫以外の男性に抱かれている姿を
見守ることしかできなかつた。



シーファ様を守ることが
できない罪悪感

それと同時にどうしても
思ってしまう



なんと美しい姿だろう…
ダークエルフの私などとは
まるで違う、エルフ王族の美しさ

おっ!!

おっ!!

おっ!!
いやあ!!

パン パン

パン
ぱん



幼い頃から知っているシーファ様が、
すっかり大人の女性になっていることを
私は初めて実感した。

早く!
早く終わらせて!

ぱん
ぱん

ぱん

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

そら、子宮が下りてきている。
絶頂が近いのが分かるぞ。
我慢せずにイッてしまえ

腰を打ち付けられるほどに、
シーファ様の透き通るような白い肌は
紅潮し、弾ける汗が増えていく。

長命種で子が少ないエルフの女性は、
身体が勝手に優れた雄を選別する。
身体が受け入れないと、その相手との
交わりで絶頂することは決してない。
そしてエルフは
絶頂しなければ排卵せず、
子を宿すこともない。



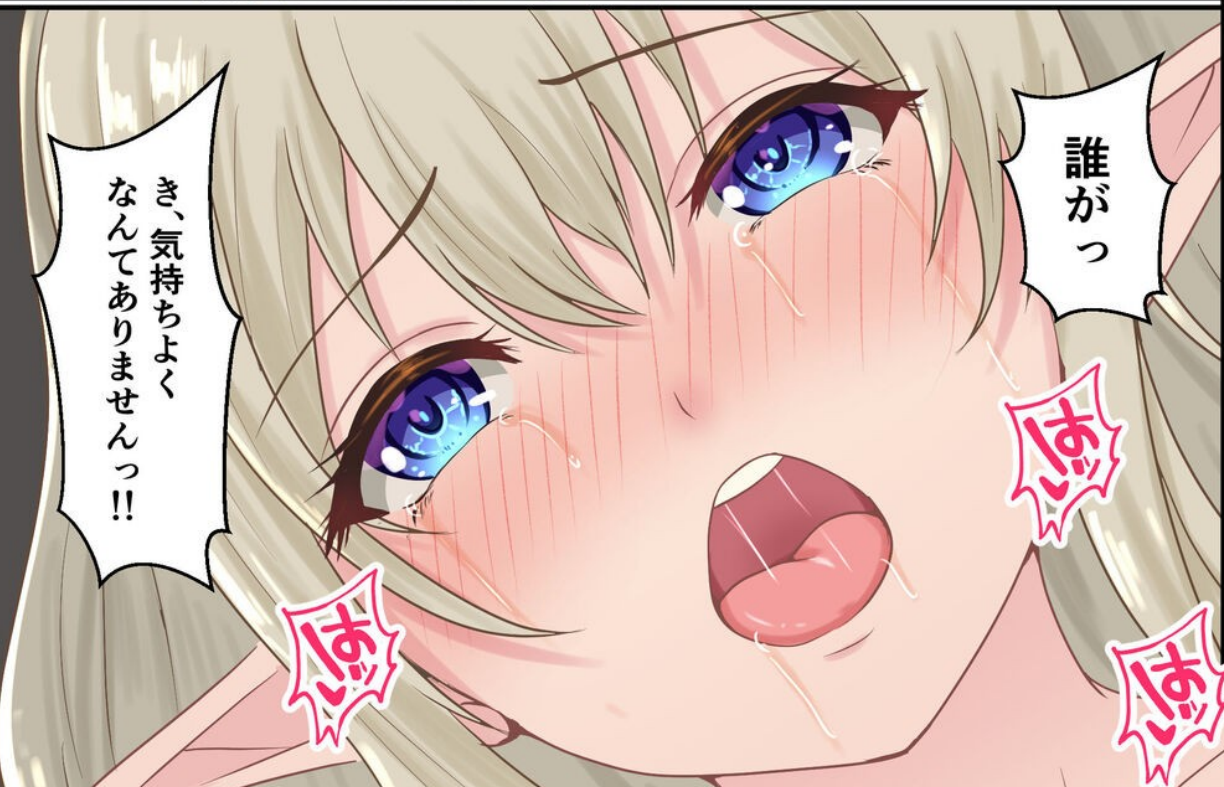
その様子と表情から、心に反して、
シーファ様の身体はジェイス様を雄として
受け入れていることが私には分かった。

誰がっ

はっ

はっ

はっ



き、気持ちよく
なんてありませんっ!!



それでも、シーファ様が絶頂に達することは一度も無かった。王妃としての、カイン様の妻としてのプライドがそうさせているのだろっか…。

くそ！
もうダメだ！
出るっ

数時間、絶頂を耐える辛さ。自慰の経験から、処女の私でも理解できる。

ドクン
ドクン



なんとお劳しい…
私が少しでも、お役にたたなければ…



グイッ

ドクン
ドクン



はあ……

はあ……

びん

びん



それは……?

……どうしました?

は……!

は……!



シーファ様……

あの……差し出がましいのですが……

今夜は、ジェイス様に
気づかれないように
これをお持ちしました。



まだ経験こそありませんが、
私はメイドとして、
女性主人様のお身体を
慰める方法は心得ております。

もしよろしければ、
私にそのお役目を
いただければ……



慰め…
そ…そう…



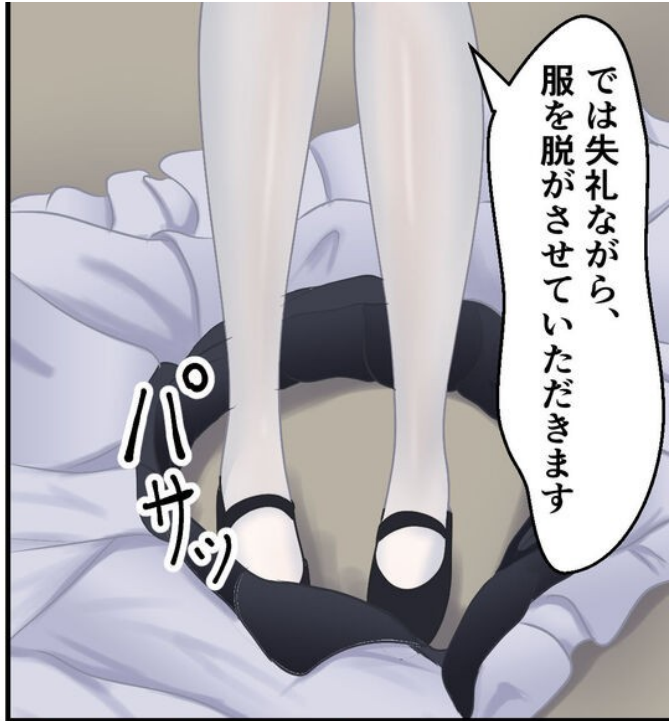
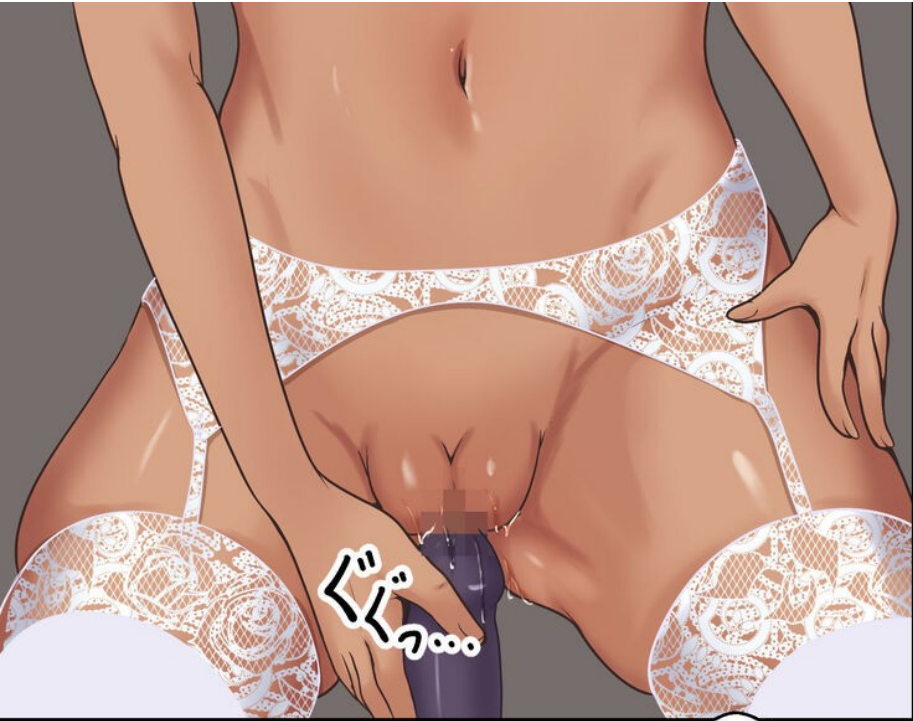
はい、喜んで！

…っ！



では…
お願いできますか？

確かにこのままじゃ、
耐えられなくなりそう…



では失礼ながら、
服を脱がさせていただきます



はい、
ご心配いりません
何度か一人で練習した際に
膜は無くなっております

では・・・
準備できましたので・・・



リーラ？
大丈夫？

んっ・・・！



中・・・失礼いたします

それでは・・・



なんだか
恥ずかしいわね・・・

ええ・・・



あっ・・・大きいっ

これ・・・
ちよとどジェイス様のと
同じくらいの形・・・??

このまま奥まで・・・
挿れますっ！

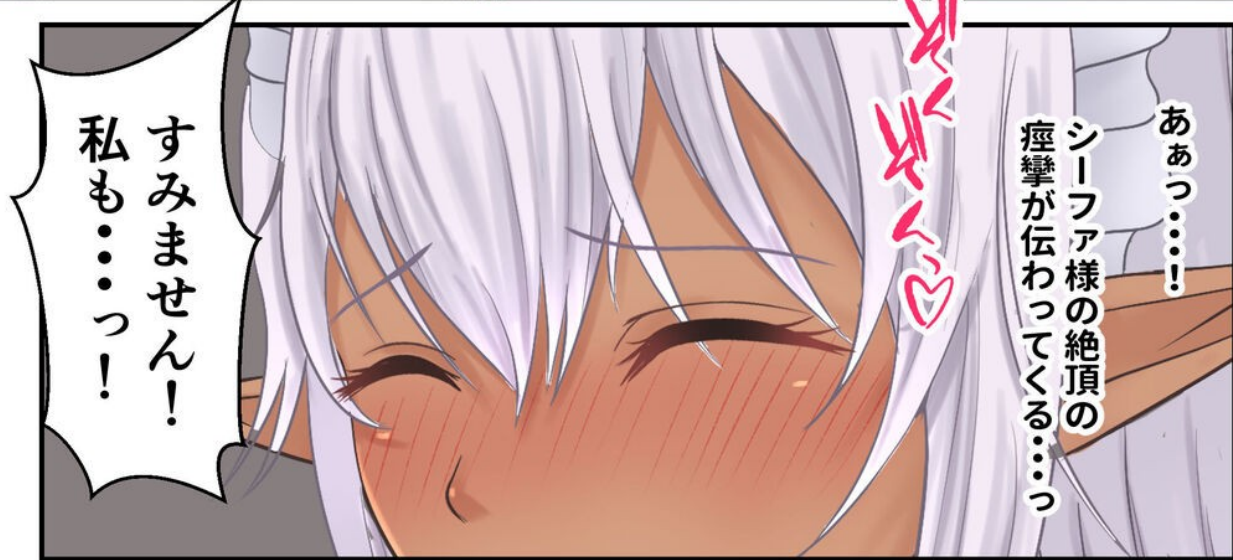
ズン
ズン



リーラ！
これっ、気持ち良い
ところに当たるわっ

全部入りましたっ
私も、気持ちいいです！









ほあ

お呼びでしょうか

どうした？
顔が赤いし息も荒いぞ？

あ…申し訳ございません。
気になさらないでください…

そうか。まあいい。

もう一度聞くが、
シーファは大丈夫なんだよな？



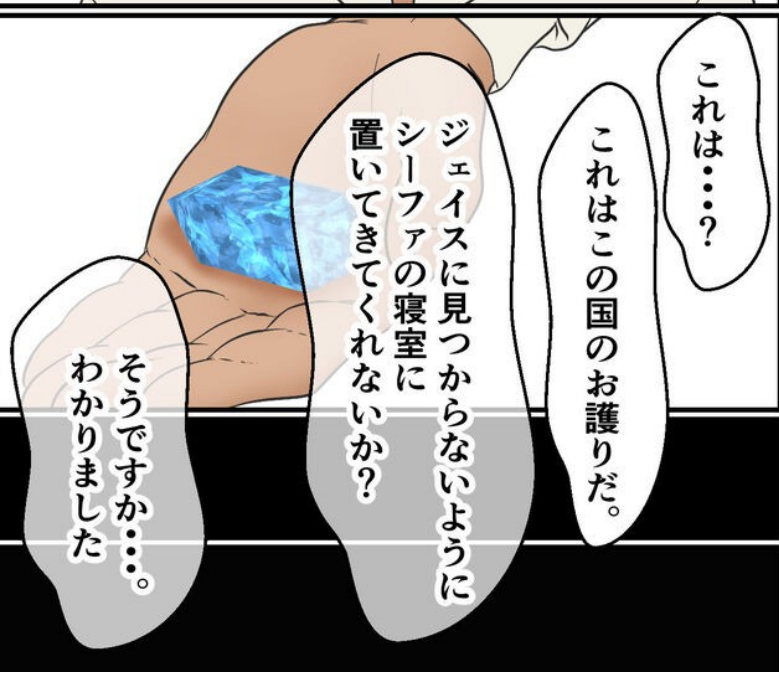
……

お前に頼みがある。



は…大丈夫とは…

ギースに手を出されたりとか…
してないんだよな？



これは…？

これはこの国のお護りだ。

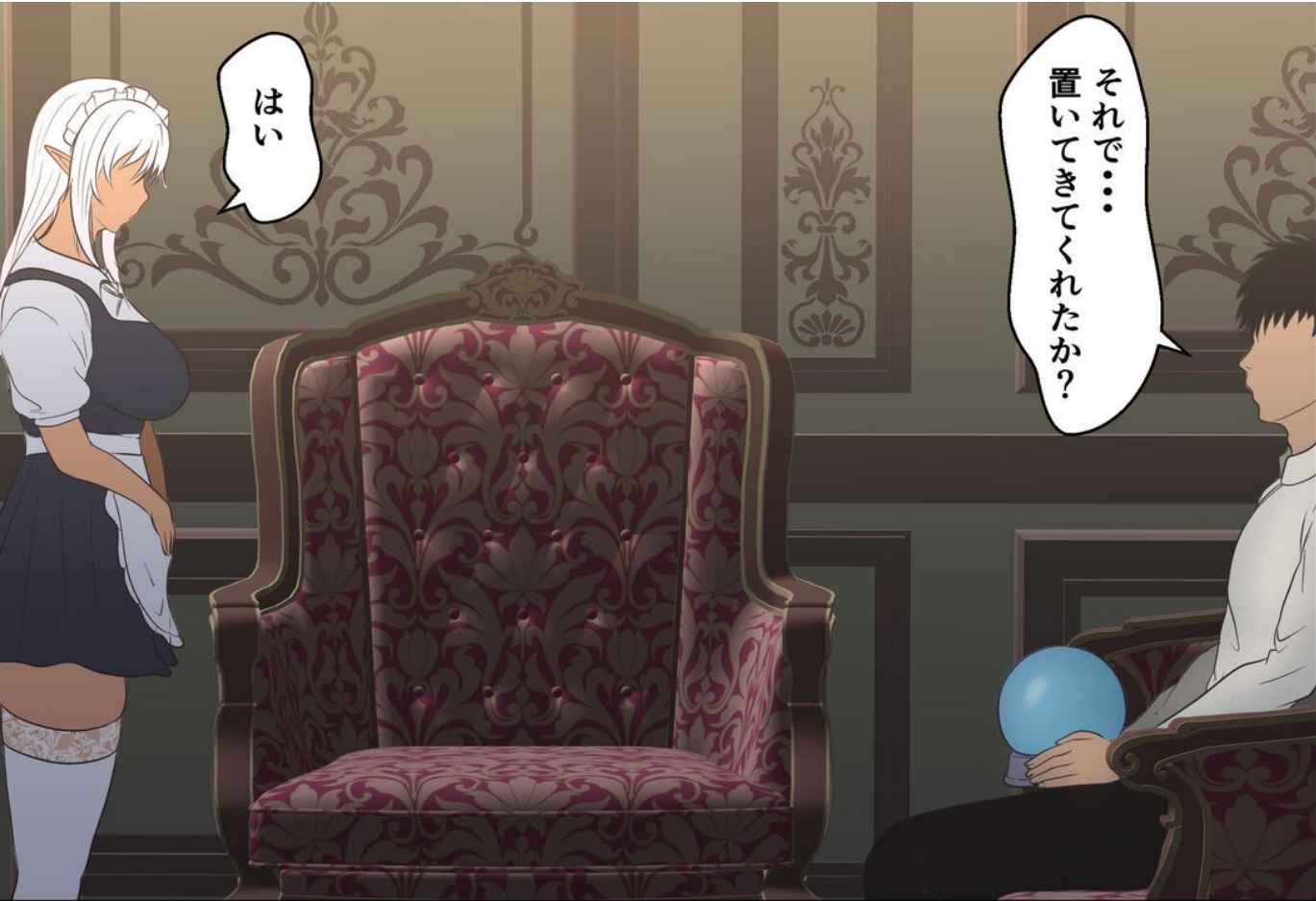
ジェイスに見つからないように
シーファの寝室に
置いてきてくれないか？

そうですか…。
わかりました



あ…その…

はい、そのようなことは
ありません



はい

それで…
置いてきてくれたか？



…え？
は、はい。
こうでしょうか…？

では、この水晶に
魔力を注いで欲しい。
僕には魔力が無いからね。



あのカイン様…？
これは…？

よし。うまくいったな

ホウ…





大きい…

間近で見るまで気づかなかったけど、
こんなに大きかったなんて…



良いぞ。
上手ではないか



そうだ、奥まで。
喉を使え

カインのと全然違う

だから膣内の気持ちいい
ところに当たるのかな…？
もしかしてずっと気持ちよく
なれなかったのは
相性の問題だったの…？

昨日、初めてリリーラにイカせてもらったので、イクのがあんなに気持ちいいものだって知らなかった



私どうなっちゃうんだろう...



もし... この熱いものでイカせてもらったら...

ダメ...

くちゅくちゅ

ちゅぽん

ちゅぽん

私、リーラが見てないからって、
なんてこと考えて...

私はカインの
妻なんだから...

すりっ♡

すりっ♡

他の男の子供を宿すなんて
あってはならないこと

きんぽん

きんぽん

ちゅぽん...

ぐわんぽん
ぐわんぽん
ぐわんぽん
ぐわんぽん
ぐわんぽん



やっぱりか……

シーファ……



ジェイス様が
王になった晩からです……

毎晩なのか……？

はい……
シーファ様の意思に
反して無理やりに……



これは……
いつからなんだ？



無理やりだと...?

こんなに股を濡らして、相手に擦りつけながらで、か...?

ぐちゃっ

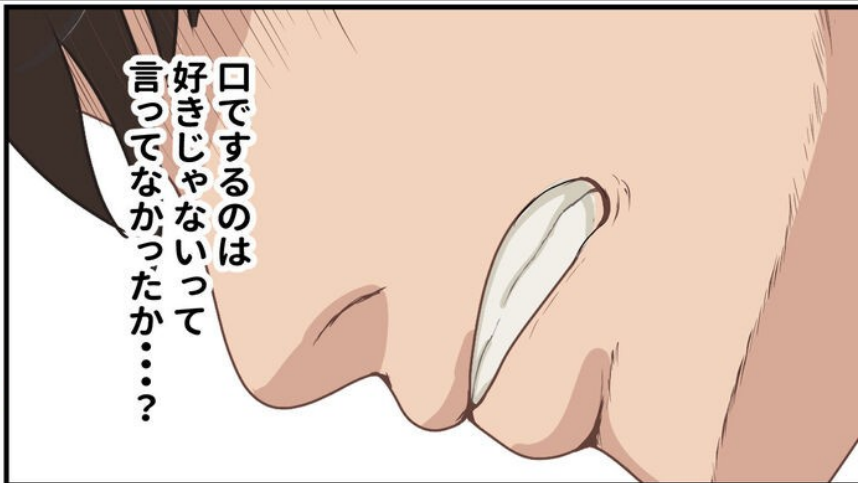
ちゅっ

すり すり



ビクッ

は、は...?



口でするのは好きじゃないって言っでなかったか...?



俺のものを口でするんだ。奉仕しなさい...!



リーラ...

夫がいる身で、他の男のペニスをこんな風に舐める女だったのか?



よ、よろしいのですか……?

ああ、早くしろ



え……?
はっ……

ビクッ



で、では……
精一杯務めさせていただきます……

ああ……シーフア……
なんで……そんなこと……

ぬちゅ

びくびく



ああ…
これがカイン様の…
本物ってこんな感じなんだ…

では…
失礼いたします…

ギン
ギンッ



せっかく初めて私を求めていただけなんだ。
精一杯お慰めしたい…
こんな時だからこそ私が
カイン様の心の支えになれば…



はあ

はあ

あの…
お具合
いかがでしょうか…?



ちゅ
ちゅ



あ…



…

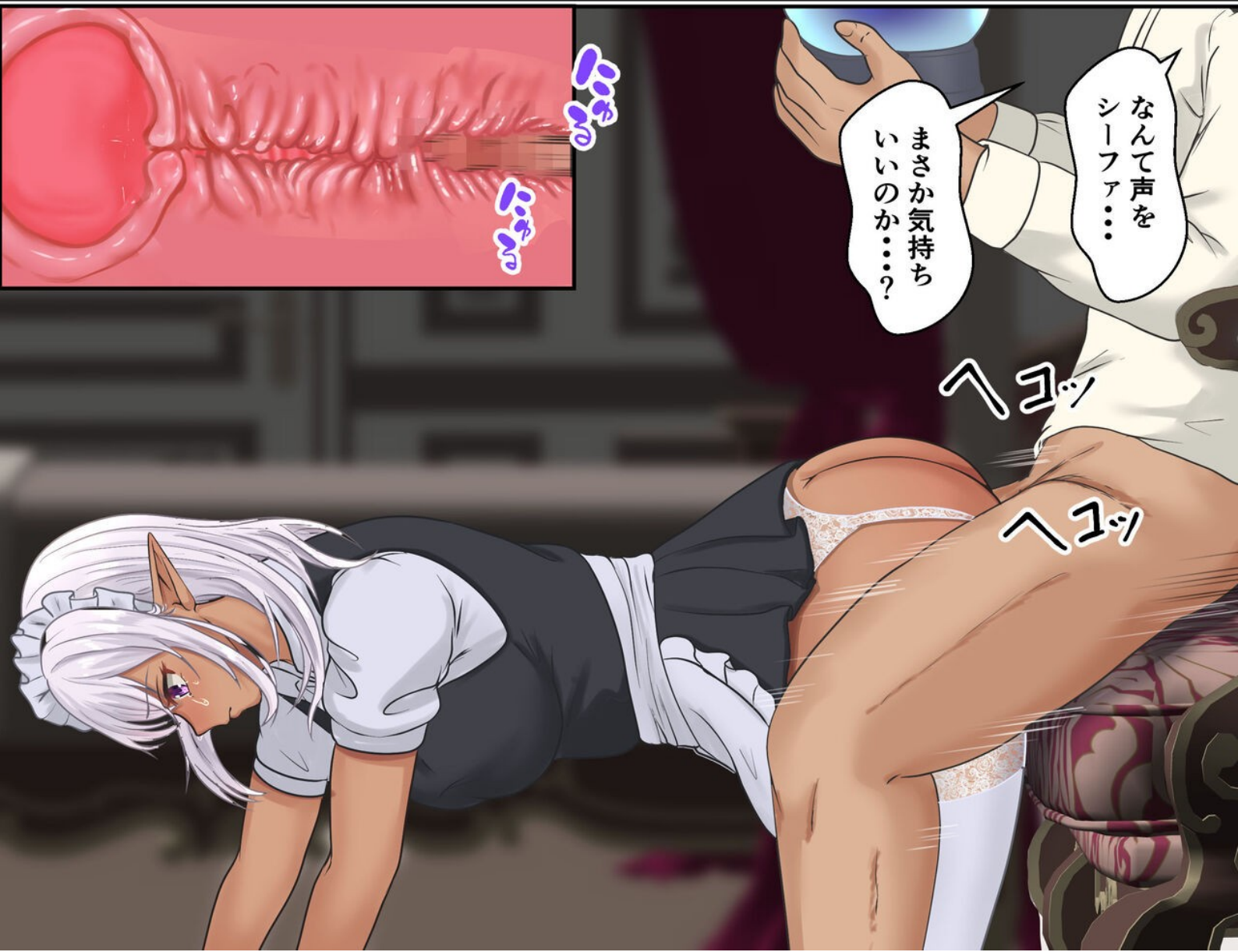
ちゅ

ちゅ

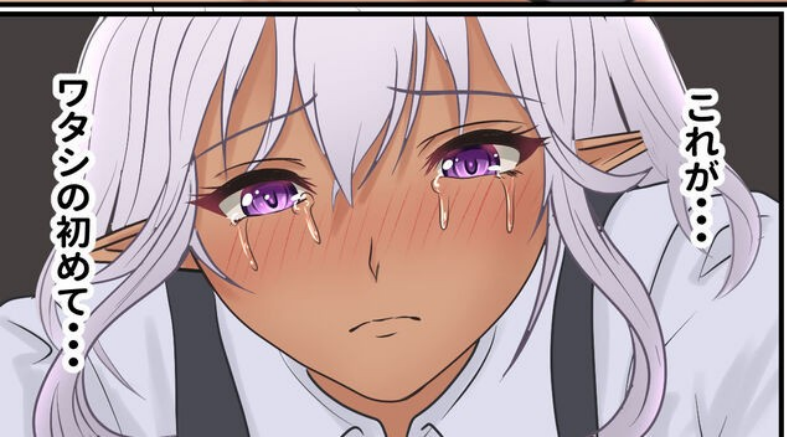


シーファ…

ああ…シーファ…



なんて声を
シーファ…
まさか気持ち
いいのか…？



ダークエルフの私が、
人並みの幸せを得たいなどと
恥ずかしい願いだとは理解している。

それでも…
やはり期待していなかったと
言えば嘘になる。

では…
私はこれで…

ご寵愛ありがとうございます
ございました…

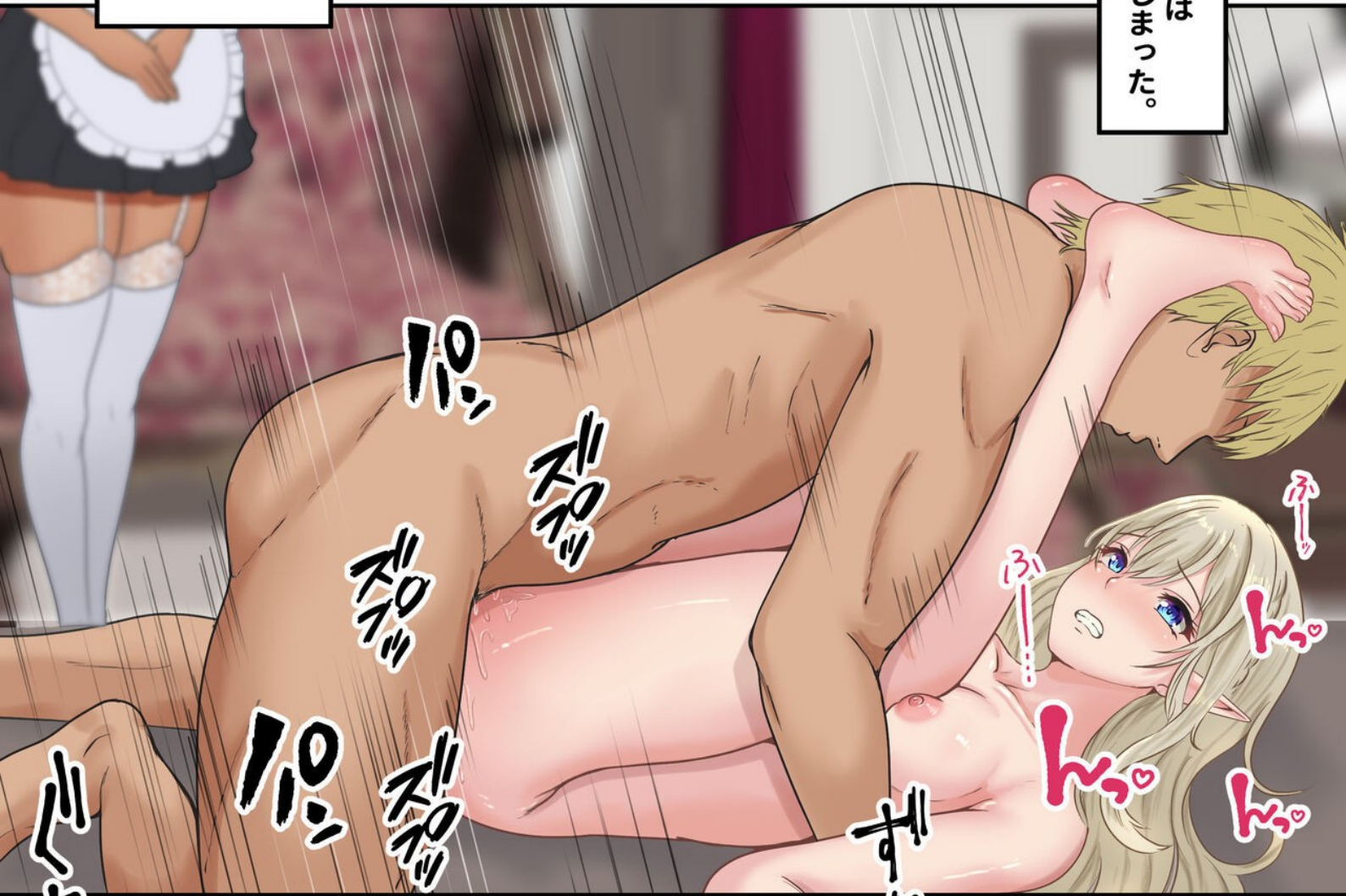
想っている男性の身体と
繋がれるのはどれほど
心地良いことなのだろうか。

妻が目の前で他の男性に
抱かれているのだ、無理もない

でもせめて…
お声の一つだけでもかけて欲しかった。

それから数日、カイン様は心労で部屋に籠もってしまった。

またシーファ様が抱かれる姿を見守り、その後私がお身体を慰める夜が続いた。



私には男女の交わりの快感は分からなかったが...

それでも、お二人の交わりを見てると下腹部は自然と熱くなった。





感じてなど
いません
それにいくら
身体を抱こうとも、
心までは
抱かせません……

ふう……これだけ攻められて
感じながらも絶頂しないとは。
なんとも強情な王妃様だ

私はカインの
ものです



こっちに來なさい

……リーラか



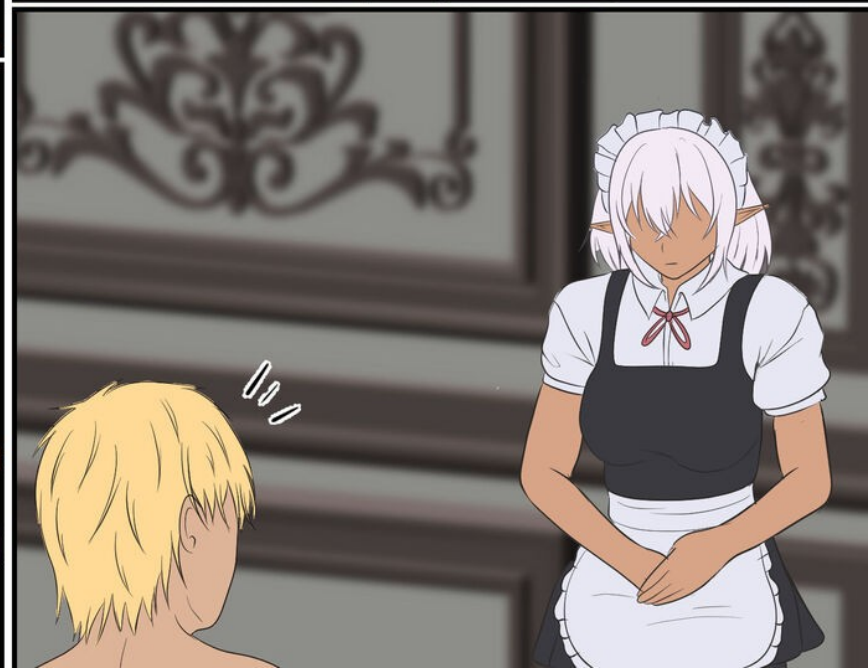
明らかに身体は
快楽を感じているが……
王族のプライドで
耐えるか……

くっ……



はっ……
私ですか……？

ビクッ



〇〇〇



えっ……？

ふむ、よく見ると、随分と美しい容姿をしているではないか

あ……、あの私はダークエルフですので……そんなことは……

何を言ってる？
女の美しさにダークエルフも何も関係ないだろう。



あ……あの……

今はちょっと……ご勘弁を……

お願いします……

私なんかを美しい……？

いやそんなことよりも、どうしよう私……今……



ジェイス様！
リーラには手を出さないと……！

ガバツ

ん？
お前と同じレベルの美しい女性が目の前にいるんだ。
それは無理な相談だろう

リーラ、
スカートを捲くるんだ



もじ...

もじ...

う...
あの...



早くしなれよ



これで...
いいでしょうか...

キ...
ア...
ア...
ア...

む...
わ...
あ...



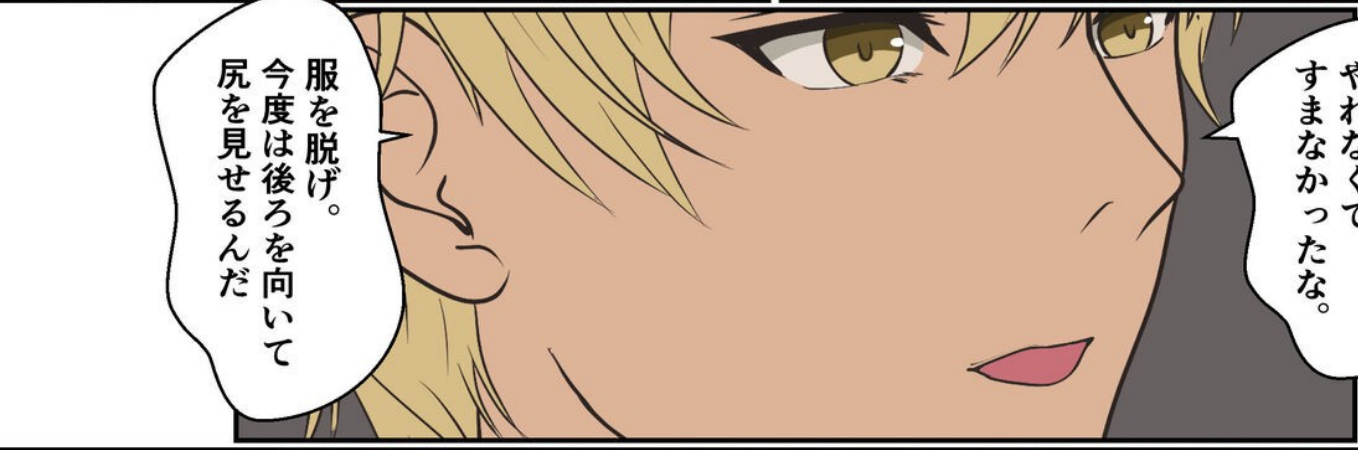
これは……
その……

ひ……はわ……



おお、なんだ。
ぐっしょりではないか。

シーファが抱かれる姿を
見て興奮していたのか



それは気づいて
やれなくて
すまなかったな。

服を脱げ。
今度は後ろを向いて
尻を見せるんだ



うう……
はいい……



は……
あう……



いや美しい尻だ。
手で開いてよく見せてみろ



あの……
お目汚しになります
あまり見ないで……
ください……



しかし、なんだ……
処女ではないではないか

ほう。褐色の肌とピンクの性器の
コントラストもいいものだな。
素晴らしいぞリーラ



もう処女では
ありません……



先日カイン様に
ご寵愛いただきましたので



え……

ふん……そうか。

こんな事態でもメイドは抱いているわけか。呑気なものだな。

そんな……ワタシがこんな恥辱に耐えている間に、リーラを抱いている……？



あっ……あのっ

ジェイス様……やめ……

恥ずかしっ……

だいぶ感度が良いようだな。どんどん蜜が溢れてくるな。

よし、上に跨るんだ。

びん

びん

びん
びん
びん



よろしくお願ひします…





嘘…挿れた途端にイッてしまった…
カイン様のと全然違う…？

おお、目が光って…
なんと美しい

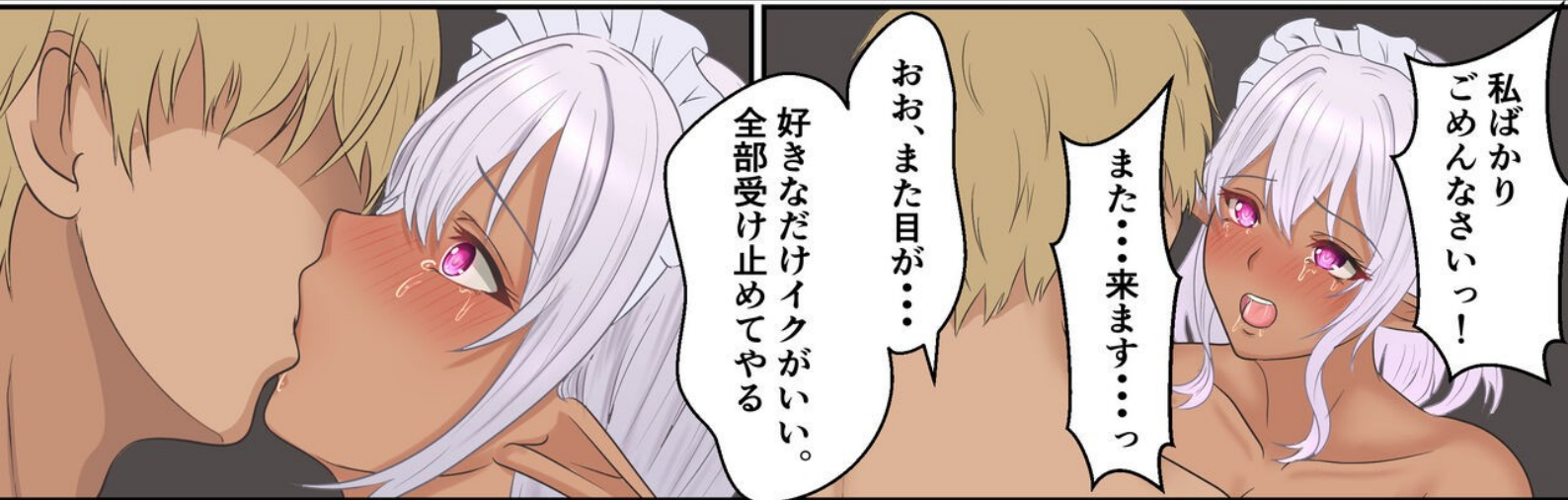
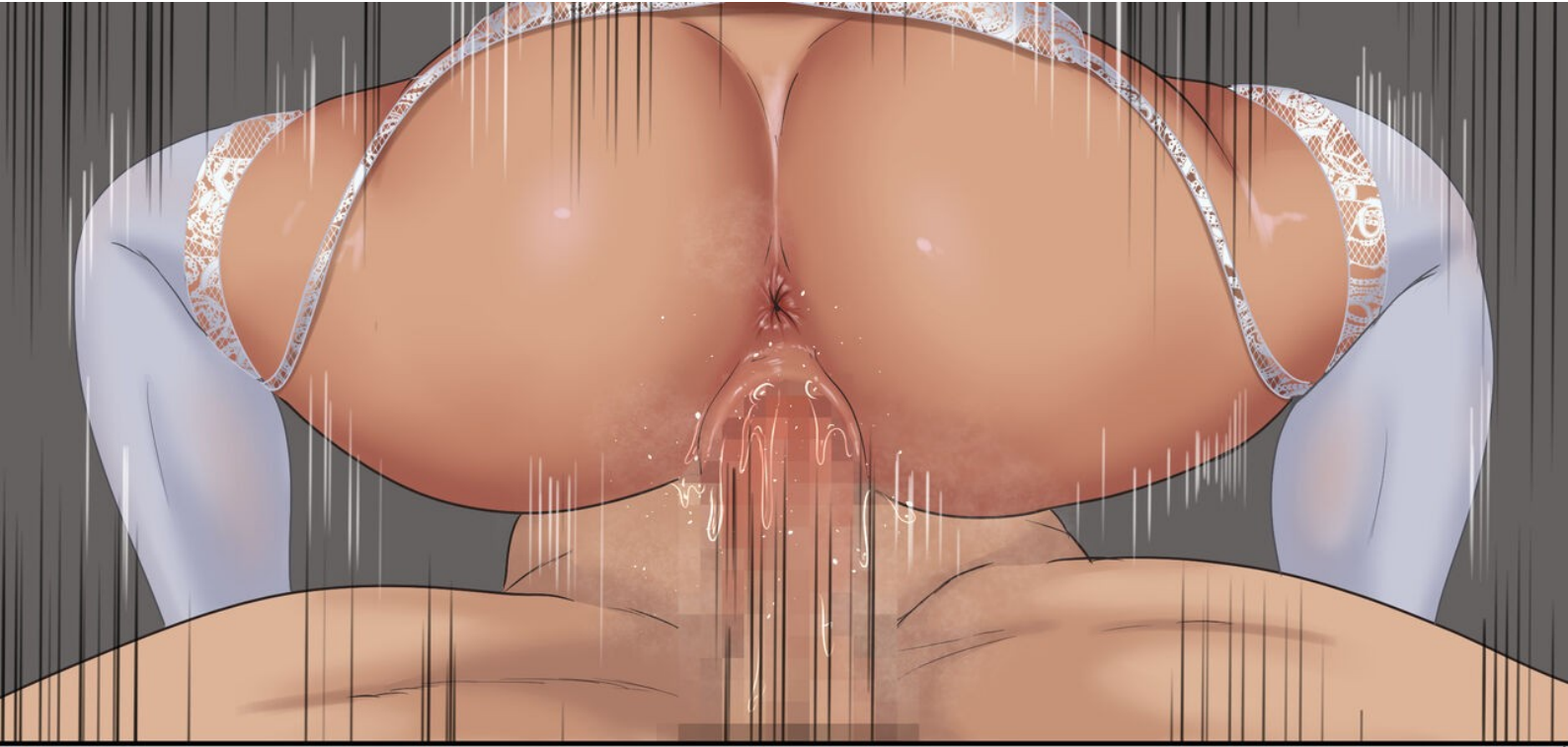
ようやく見れたな。
エルフは絶頂時にのみ排卵し、
その証として目が緋色に輝く。
そうだろ？

は…
はあ…
はッ

はい…とても…
すぐく気持ちいいです。

それにしても挿れただけで
イッてしまうとは。
そんなに気持ちいいか？

では存分に動け。
もっと気持ちよくしてやる。





ぎぎもぢぢ!!!

おっくっ♡

おっお!!!

×)さる♡

おっっ

おっっ

おっっ

おっ

おっ

おっ

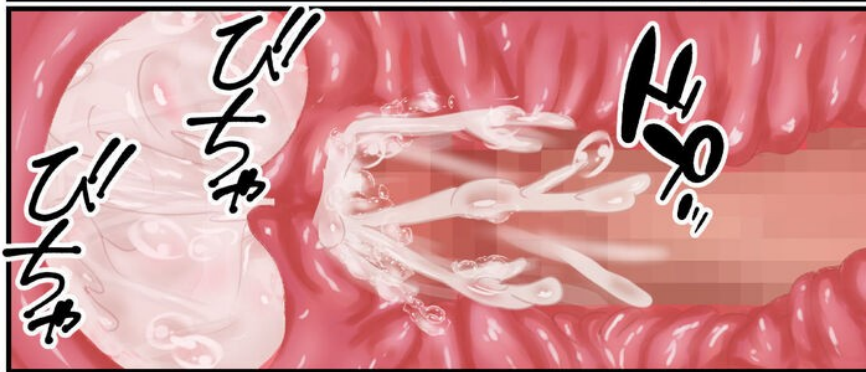
おっ

おっ

おっ

おっ

おっ



それから毎晩、私はシーファ様の代わりに
ジェイス様に抱かれるようになった。

ジェイス様は私を気に入ってくれたようだった。

最初は単に、心を開かないシーファ様への
当てつけだけかもしれないと思ったが、
抱かれているとそれは違うと感じた。
私を一人の女性として抱いてくださっていた。

ジェイス様のご寵愛は、とても心地よく、
ワタシは夜の時間を心待ちにするように
なっていた。。。。

そんなある日、ジェイス様は、
部屋に籠もりきりのシーファ様を、
気晴らしのために城下町外へ
散歩に連れ立った。

良い天気で
気持ち良い日ですね

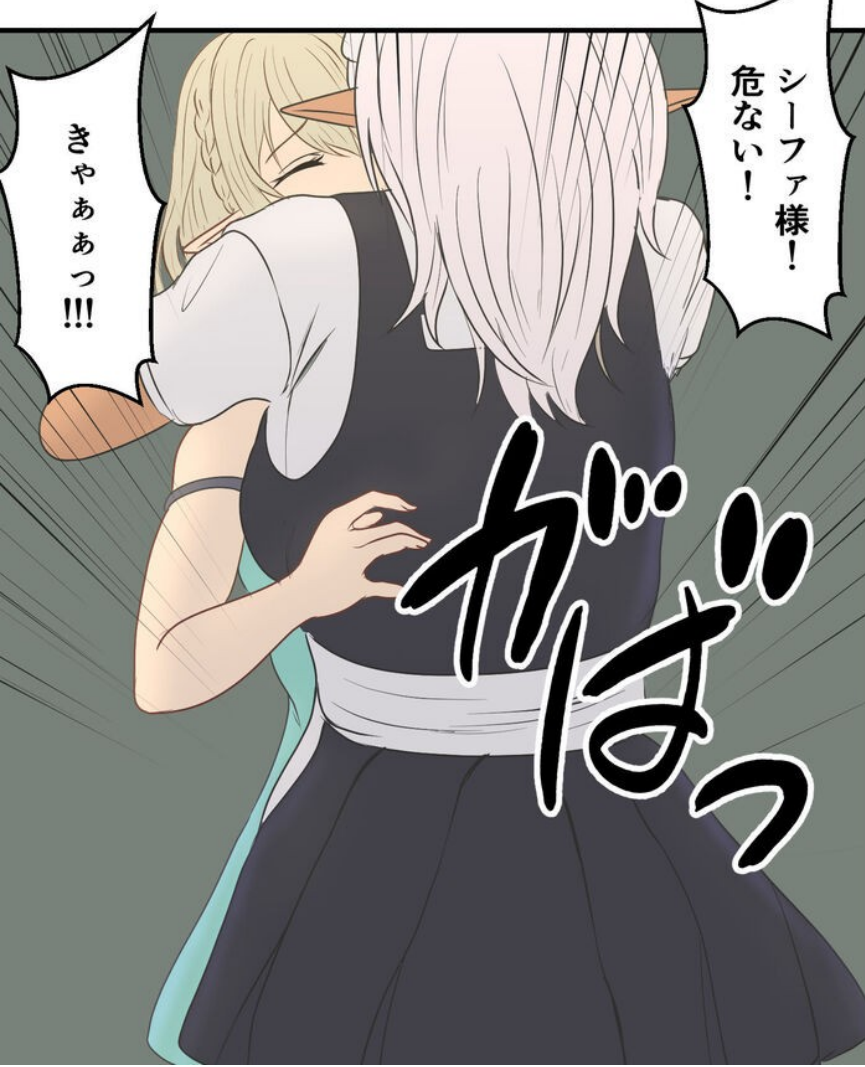
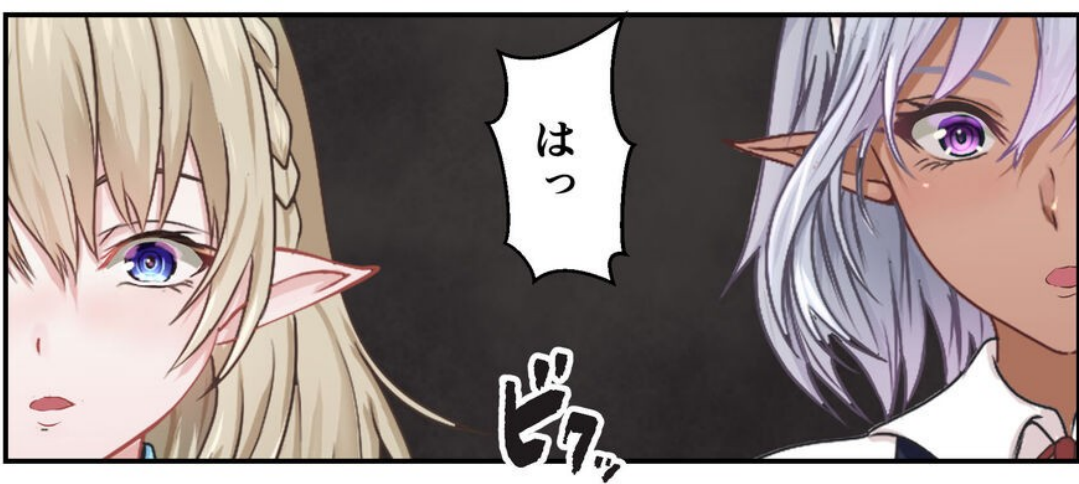
ホント！
エルフ族なのに自然に触れずに
王宮にいただけなんて
頭どろかなっちゃいそうなもの。

おい。疲れていないか？
足が痛ければすぐに言えよ？

ジェイス様は不思議な方ですね。
横柄なようで、
とても紳士的なところもあります。

女性の抱き方も…
乱暴なようで私達の本当に
嫌がることはしない。
それになんでしょう。少し…
怯えてるようにも感じますが…

確かにそうね…
それは感じるわ…

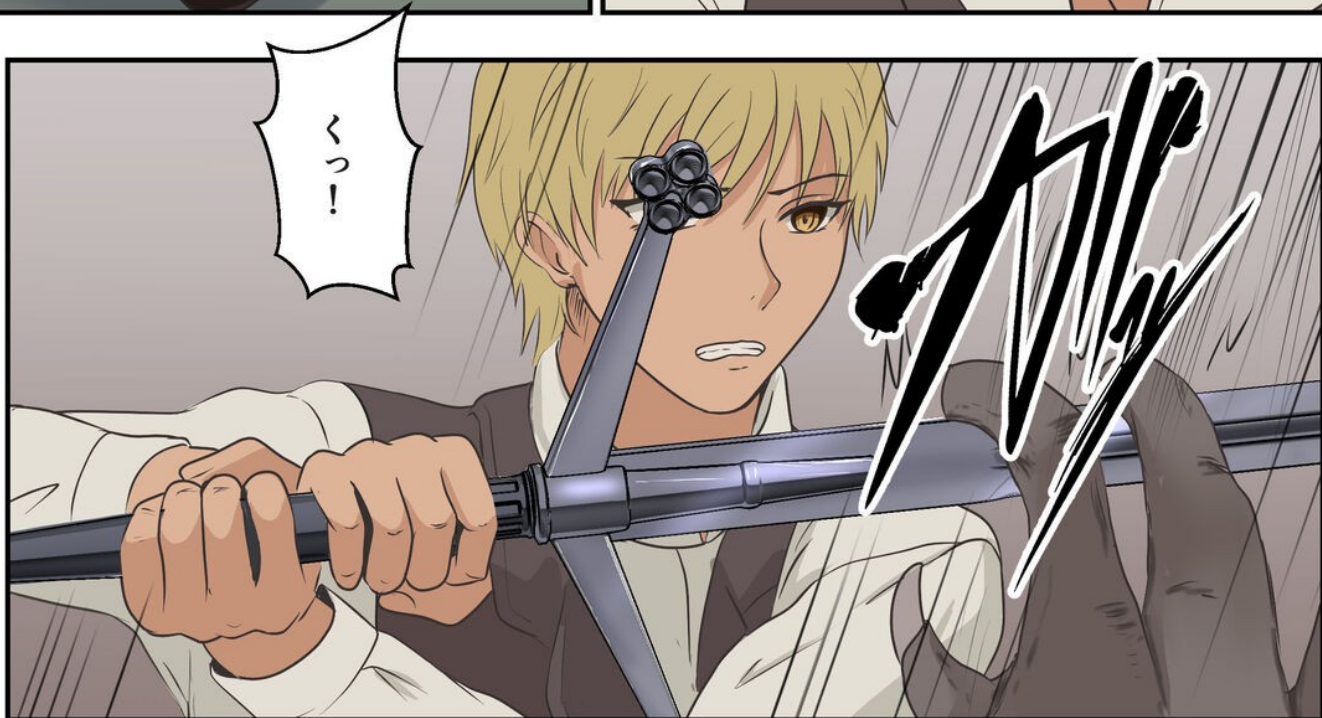




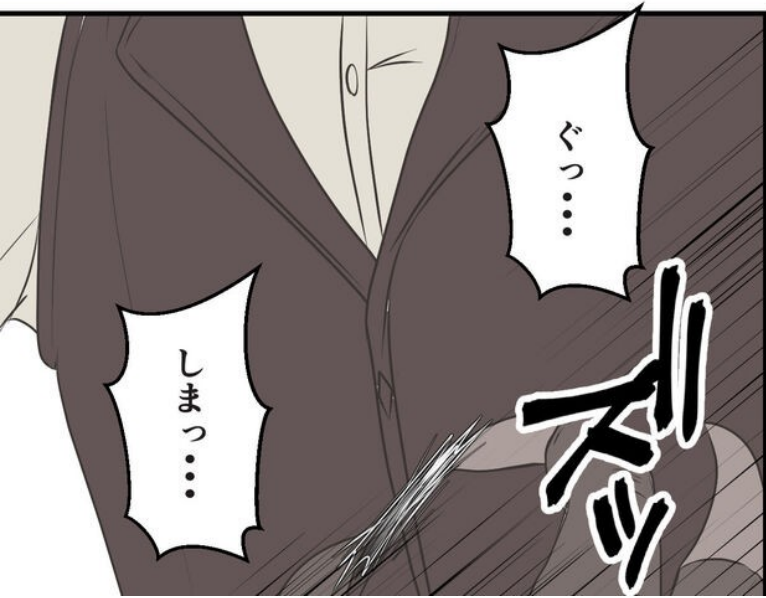
シーファア!
リーラ!



まずいっ
くそ...気配に
気づかないとは油断した!



くっ!

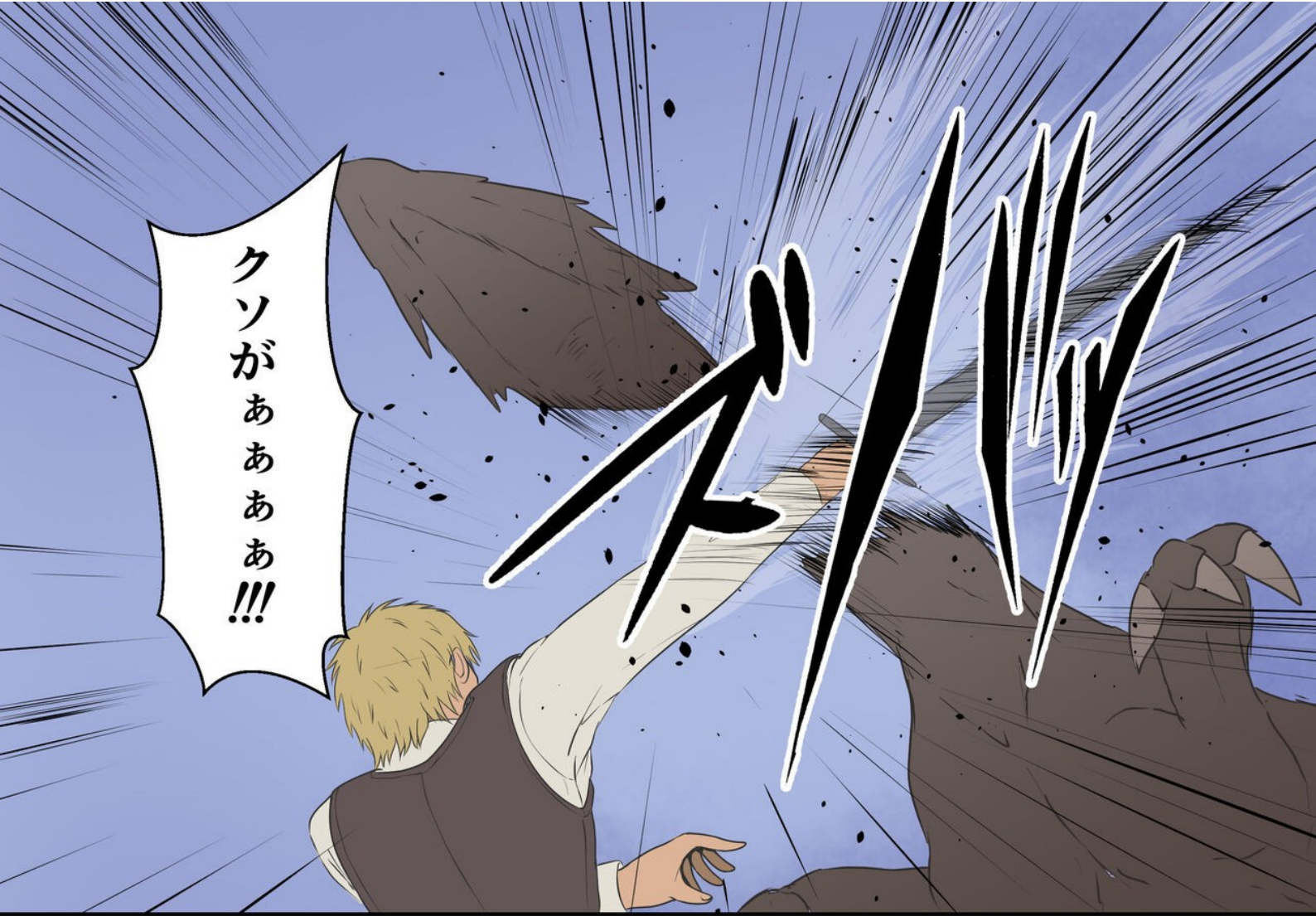


しゅっ...

ぐっ...



ズッ



クソがああああ!!!



ひっ...



きやあああああ!!!



ドチャッ

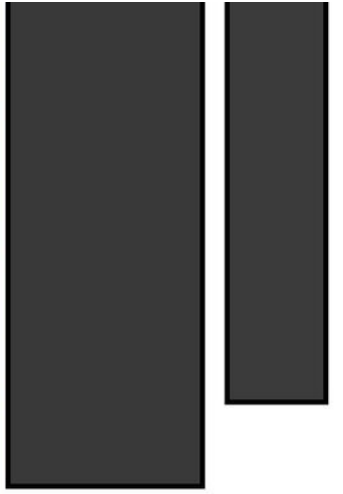
グオ...

ガ...



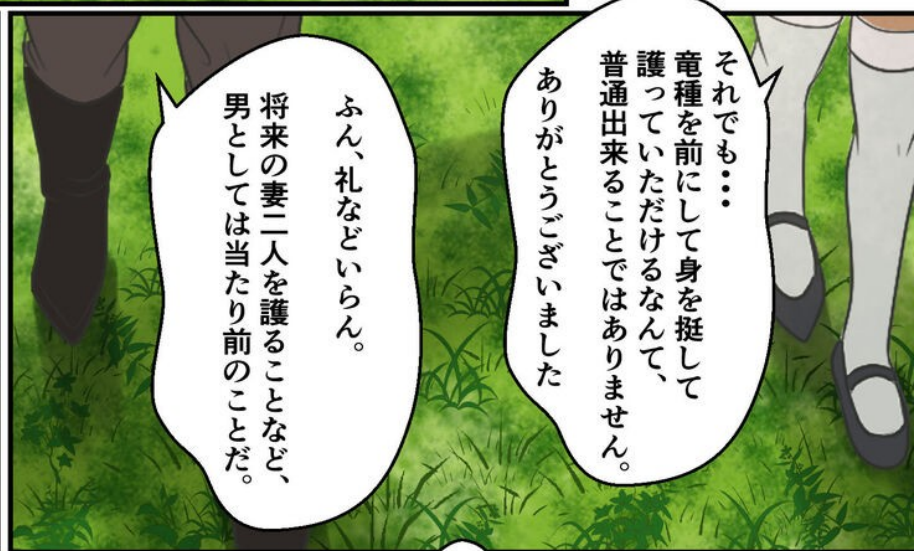
あの・・・
ジェイス様は
お強いんですね。

ん？
まあ鍛えてるからな。
成竜だったらどうなって
いたか分からんが



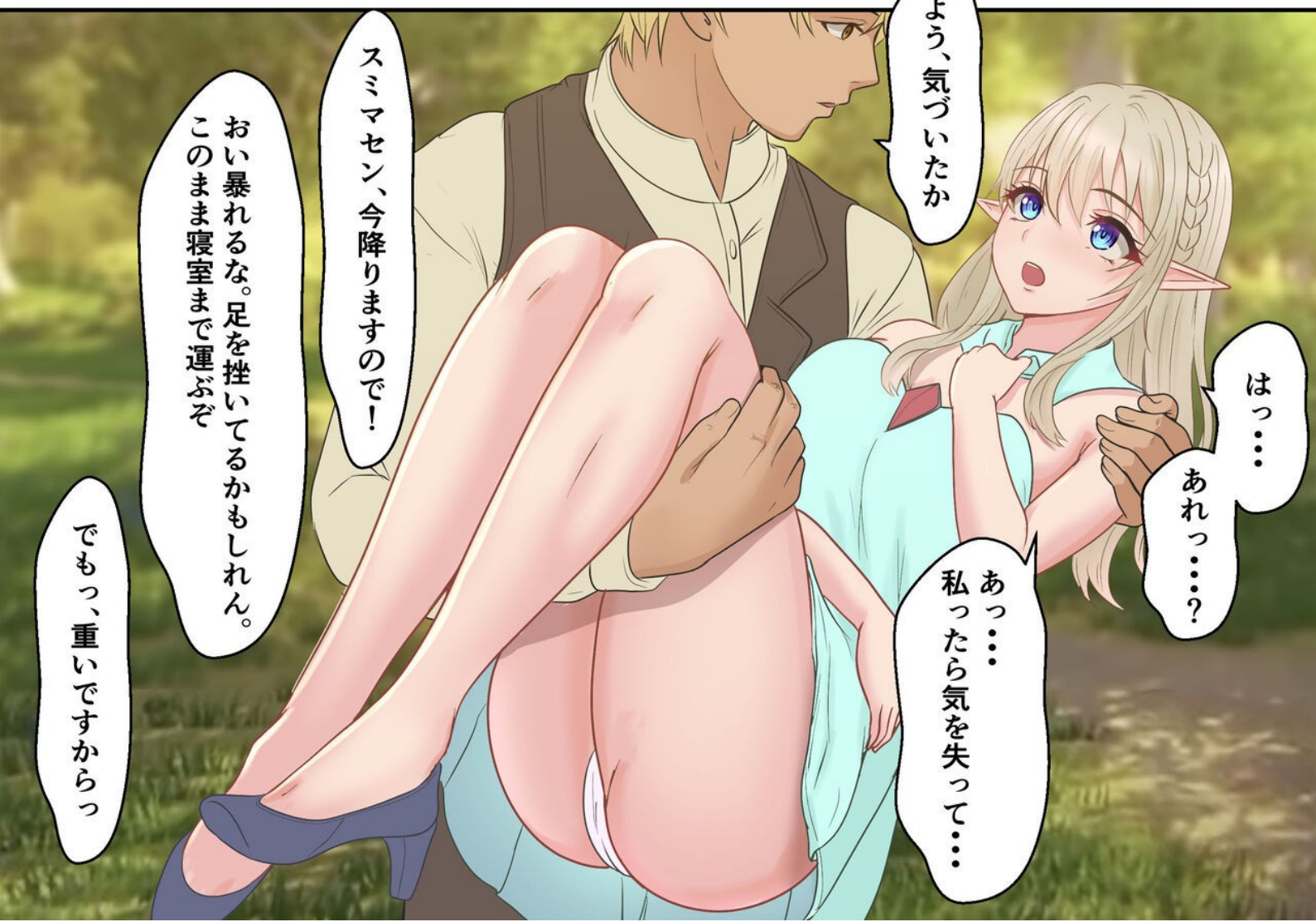
・・・え？

二人・・・？



それでも・・・
竜種を前にして身を挺して
護っていただけなんて、
普通出来ることではありません。
ありがとうございました

ふん、礼などいらん。
将来の妻二人を護ることなど、
男としては当たり前のことだ。



よう、気づいたか

はっ・・・
あれっ・・・？

あっ・・・
私ったら気を失って・・・

すみません、今降りますので！

おい暴れるな。足を挫いてるかもしれん。
このまま寝室まで運ぶぞ

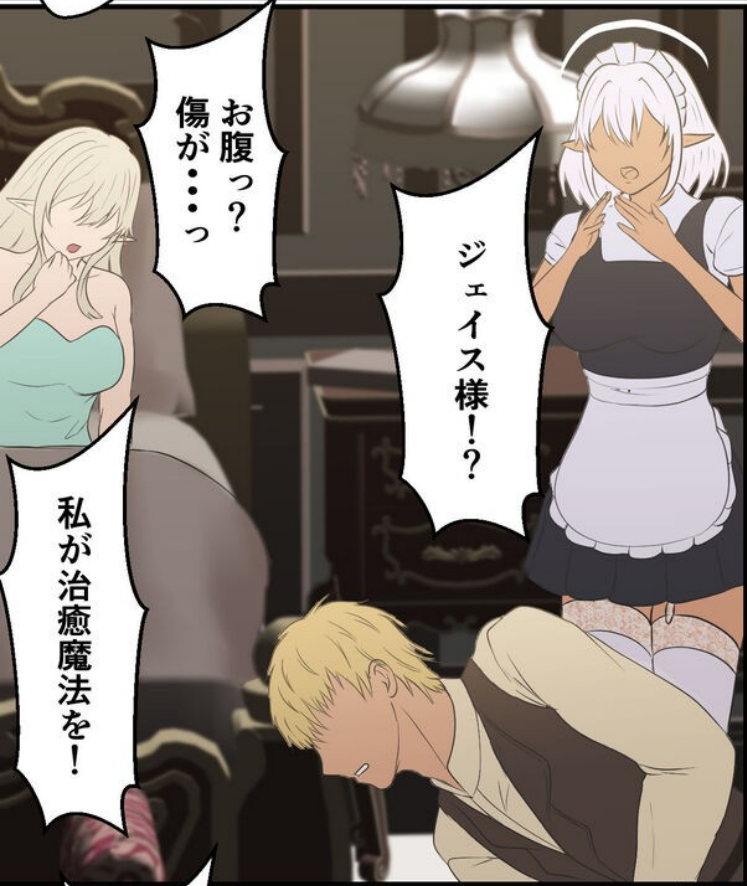
でもっ、重いですからっ



よし、まあ外傷はない。

ちようど日も暮れた。
明日まで安静にしている

大げさですよ……
気を失っただけなのに……



お腹っ？
傷が……っ

ジェイス様！？

私が治癒魔法を！



あの……
ジェイス様。リーラも……

助けてくれて
ありがとうございます



くっ……

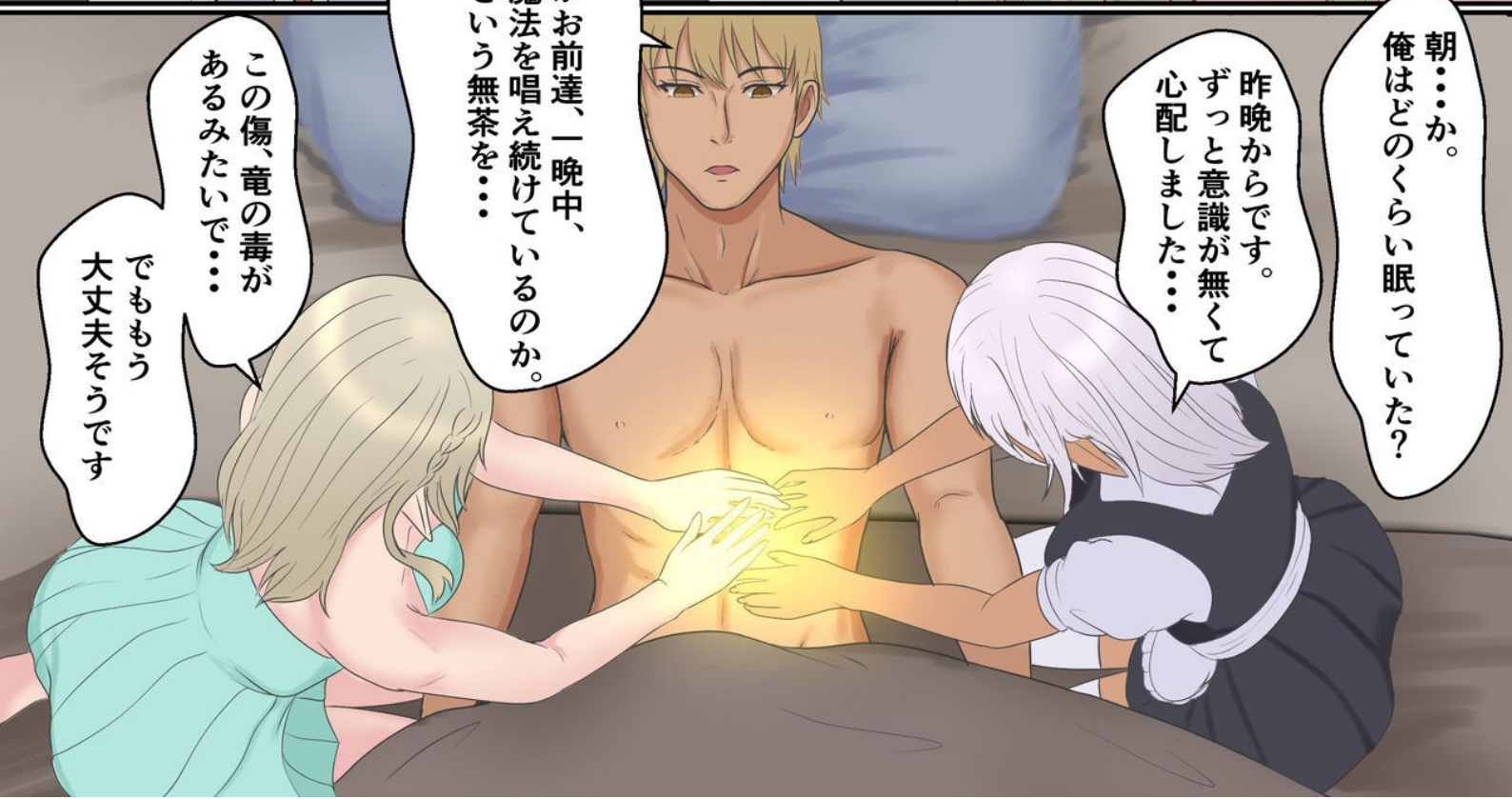
ガクッ



この傷、治癒魔法が
ほとんど効かない！？

私も手伝います！

とにかく魔法をかけ続けて！



む...

良かった...

あっ意識が!

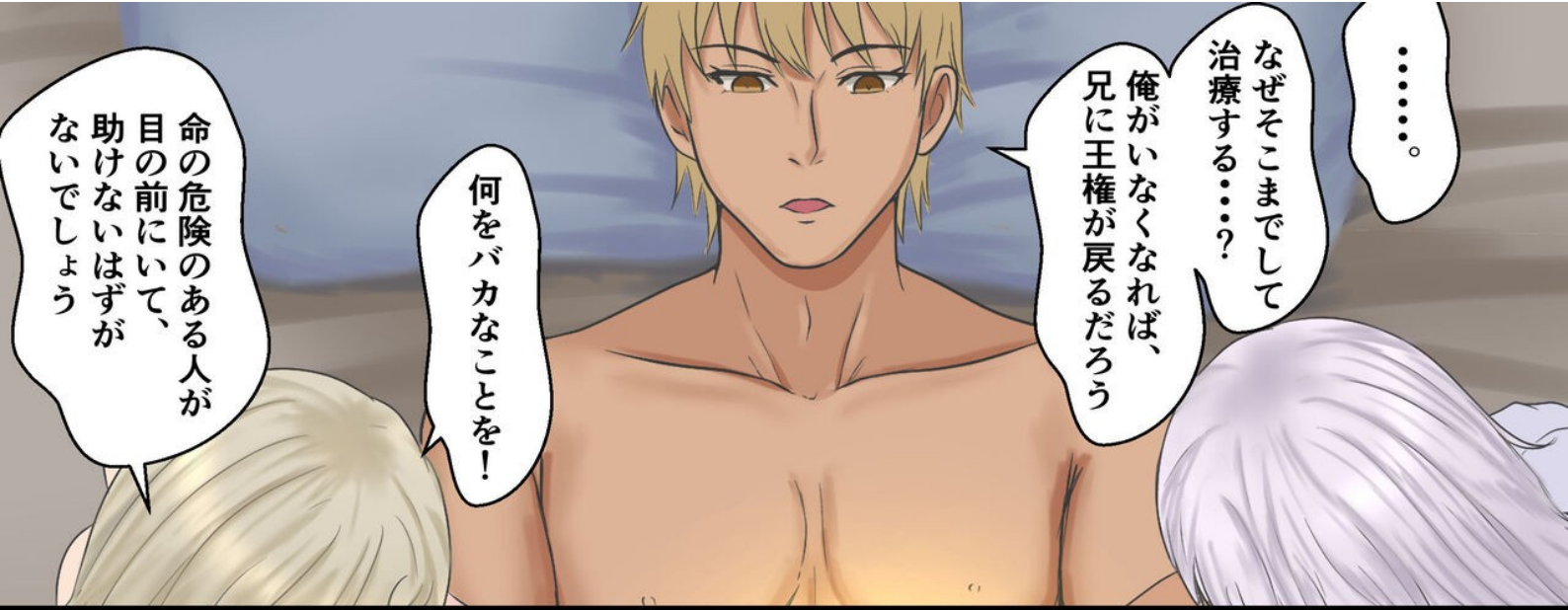
まさかお前達、一晩中、治療魔法を唱え続けているのか。なんとという無茶を...

朝...か。俺はどのくらい眠っていた?

昨晚からです。ずっと意識が無くて心配しました...

この傷、竜の毒があるみたいで...

でももう大丈夫そうです



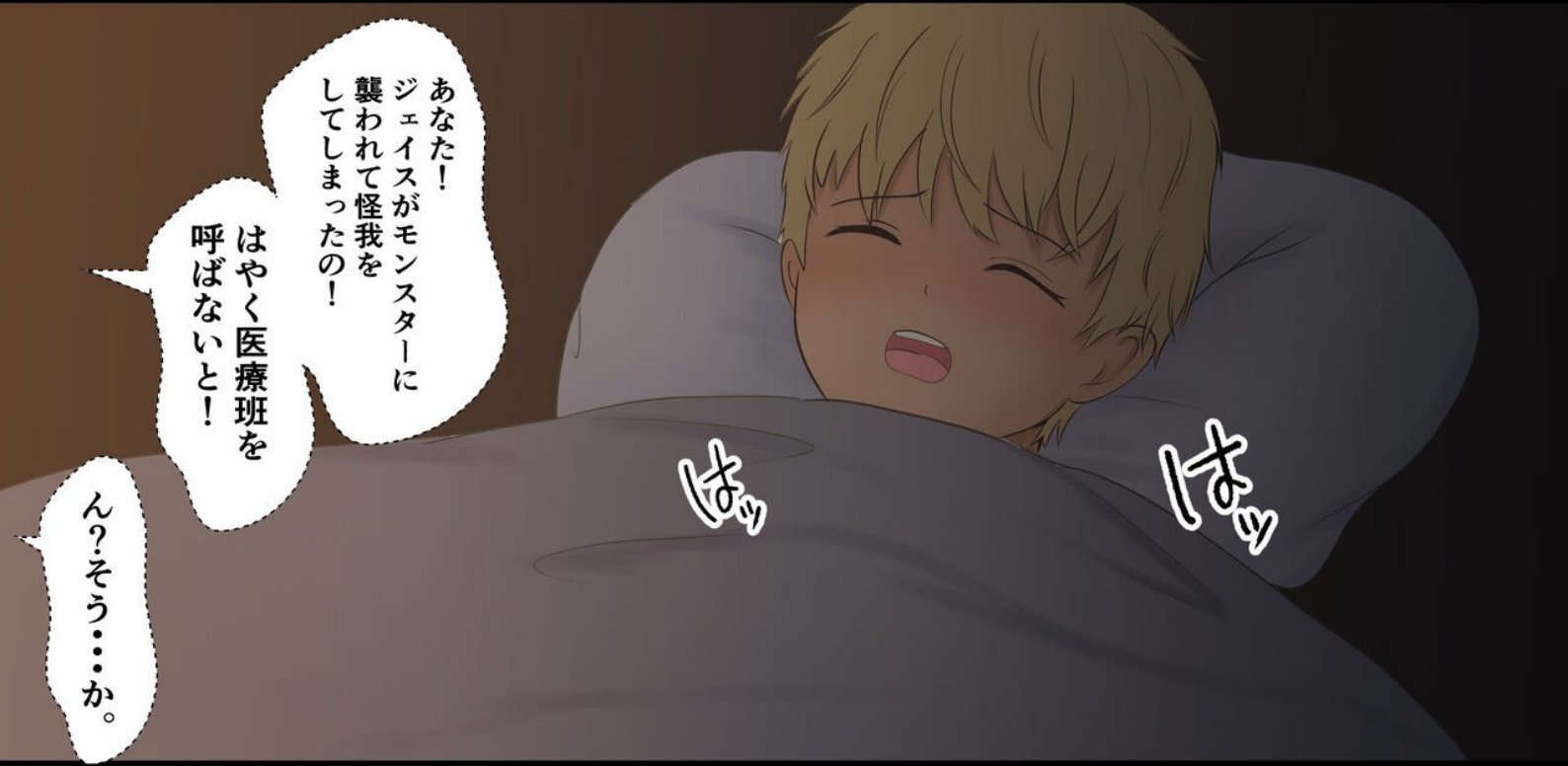
.....

なぜそこまでして治療する……？

俺がいなくなれば、兄に王権が戻るだろう

何をバカなことを！

命の危険のある人が目の前にいて、助けられないはずがないでしょう



あなた！
ジェイスがモンスターに襲われて怪我を
してしまったの！

はやく医療班を
呼ばないと！

ん？そう……か。

はっ

はっ



.....

助けたつもりが逆に助けられたな。礼を言っておこうか



だが……この国には、正妻の子カインが既にいる
第2王子というのは、いないほうが国の平和のために良いということもあるぞ……？

そんな……

ヒッ
ヒッ

はっ

半日後……

入るぞ……

かちゅ

あっあれっ、
私、ずっと寝て……？

むん……

んん……もう夜？
すっごい
寝ました……

ジェイス様……
お身体はもう
いいのですか？

ああ、
お前たちのおかげでな

それよりも
お前達の方こそだ。
魔力を使い果たして
しまったのだろう。

これを探ってきた。
魔力を満たすエーテルスイーツ
というレアな果物だそうだ。

以前に散策中に見つけてな。
俺だけが知っている
採れる場所があるんだ。

あら美味しい…
それに魔力が身体に
満ちていくのが分かるわ。

甘くて
美味しいですね。

ジェイス様も
食べてみてください

ふむ、では一口
食べてみるか

でもなんだか…
少しぼーっとしてきたわ。

頭がふわふわして
心地いい感じ…

ふむ…俺もだ…

初めて食べたが…
これは…



なるほどな……
まあ今日はもう夜だ。
特に問題あるまい。

俺もそろそろ
寝室に戻るとしよう



そういうえば、
聞いたことがあります。

ユグランドに生る
魔力を満たす
フルーツを食べると、
強いお酒に酔ったような
高揚感が数時間続くとか。

高揚感で
本音しか言えなくなるので
抽出液を濃縮すれば
自白剤にもなるみたいです。



いや……
今夜は大丈夫だ

というか考えが変わった。
お前たちを無理やり
抱くのはもう止めた



あつ、では……
今夜のお務めを……

服を脱いでまいりますので
少しお待ちを……



え……?
そんな……

でも……
私はむしろ……

同時刻ーカイン寝室ー

この時間…
きつとシーファが、
またあいつに抱かれています…

今日はどんな風に抱かれてる…??

怖い…見たくない



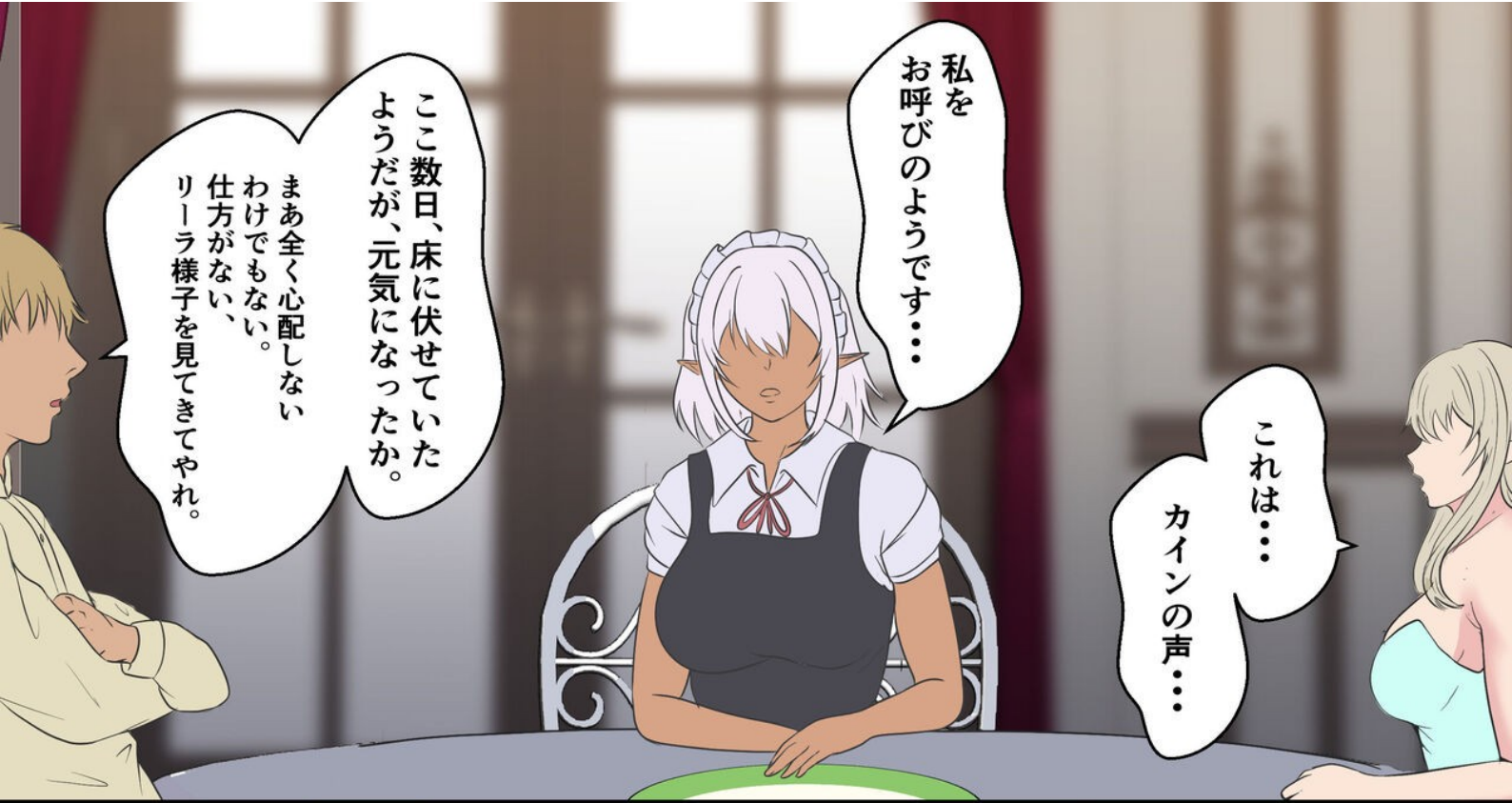
リーラ!
リーラはいないか!

この部屋に参れ!!



でも見なければ…

もう一度、魔力を注いで…



私を
お呼びのようです……

ここ数日、床に伏せていた
ようだが、元気になったか。

まあ全く心配しない
わけでもない。
仕方がない、
リーラ様子を見てきてやれ。

これは……

カインの声……



ふん、しかし兄貴は
よほどリーラの身体が
気に入ったようだな。

あの呼び方。必死じゃないか



だが、兄貴に抱かれるのは許さんぞ。
身体の奉仕もだ。

お前は俺の
大切な女だ。

無理やり抱かない
とは言ったが、
そのうち抱かれない
と思わせてみせるさ。



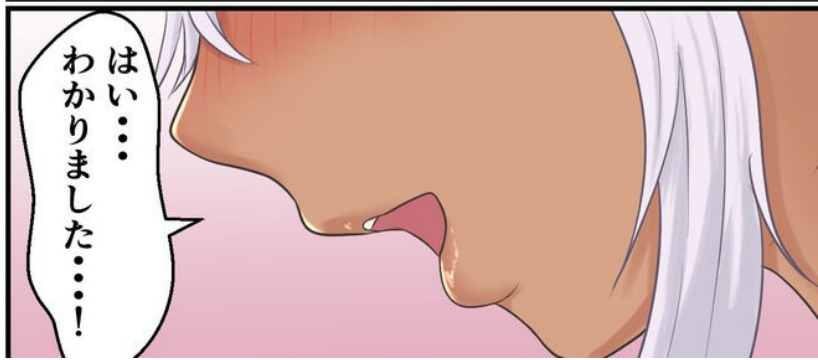
ええ、ホント……

そうみたいですわね



あ……

本音しか……
言えない……？



はい……
わかりました……!!



その魔道具がどのようなものか
知ってしまった以上、
シーファ様を裏切るような
ことはできません



なんだと!?!
なぜだ!

申し訳ございません...
それはお断り
させていただきます...



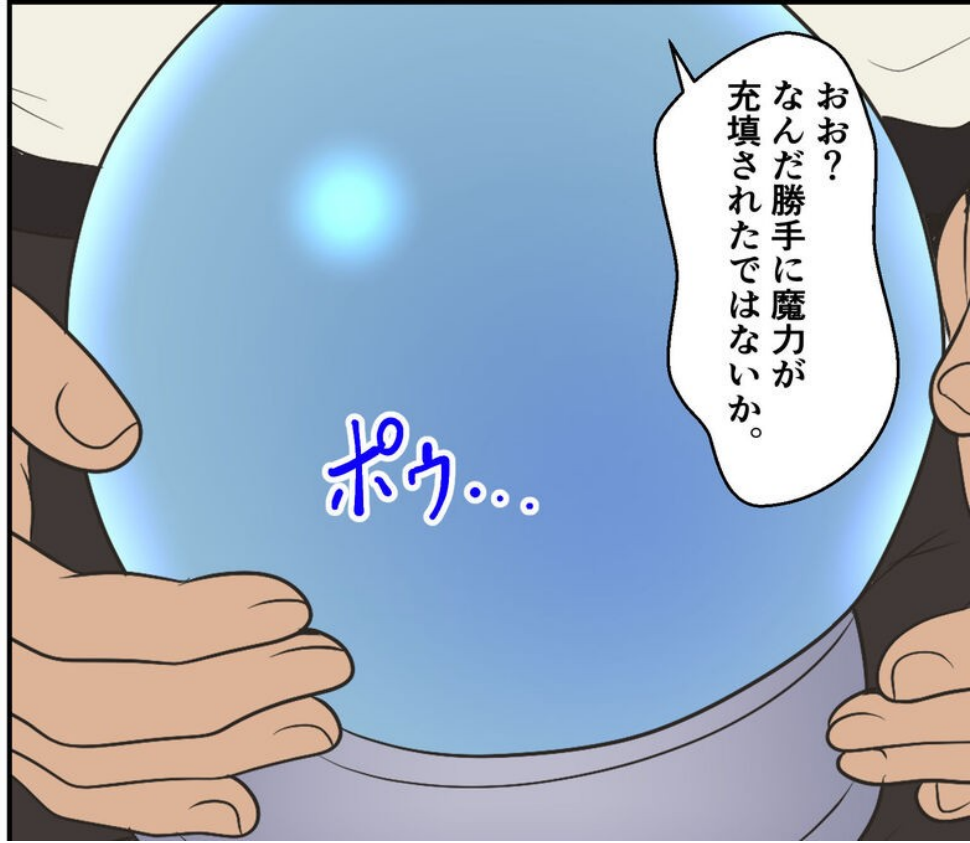
さあ、さっさと
魔力を注ぐんだ!

裏切り?
また何を訳の
わからないことを。
妻の様子を把握するのは
当然のことだろう。



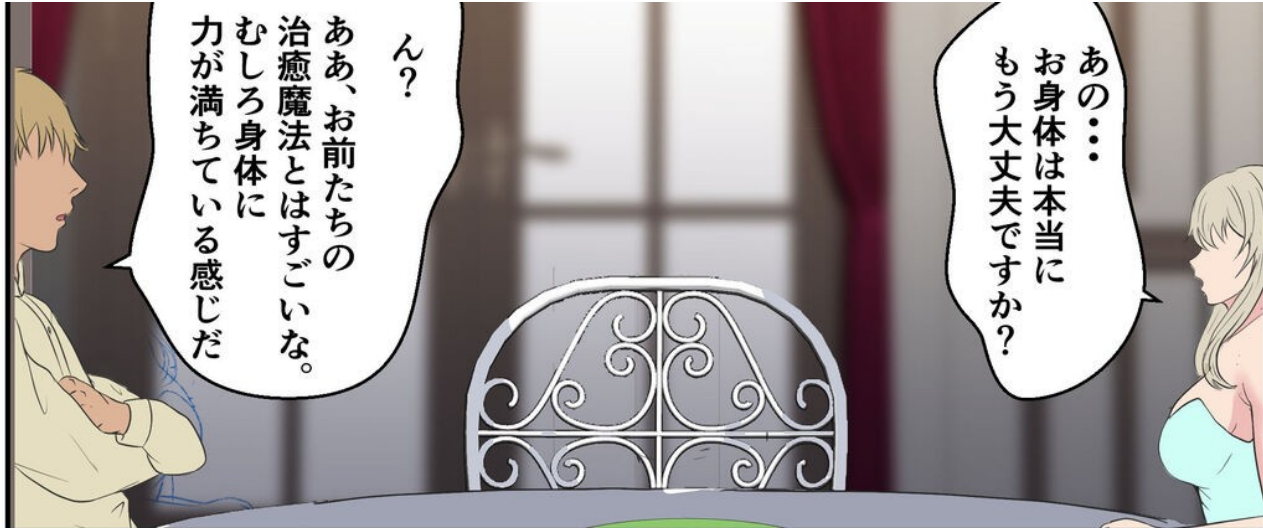
えっ、どうして

エーテルスイーツを食べたから?
魔力が身体から溢れて...



おお?
なんだ勝手に魔力が
充填されたではないか。

ポウ...



あの……
お身体は本当に
もう大丈夫ですか？

ん？
ああ、お前たちの
治癒魔法とはすごいな。
むしろ身体に
力が満ちている感じだ



今夜はジェイス様に
抱いていただきたいな……

なんて……



私だって……

そう……ですか

良かった



自分に正直になっても……

あの……

もしそうでしたら……

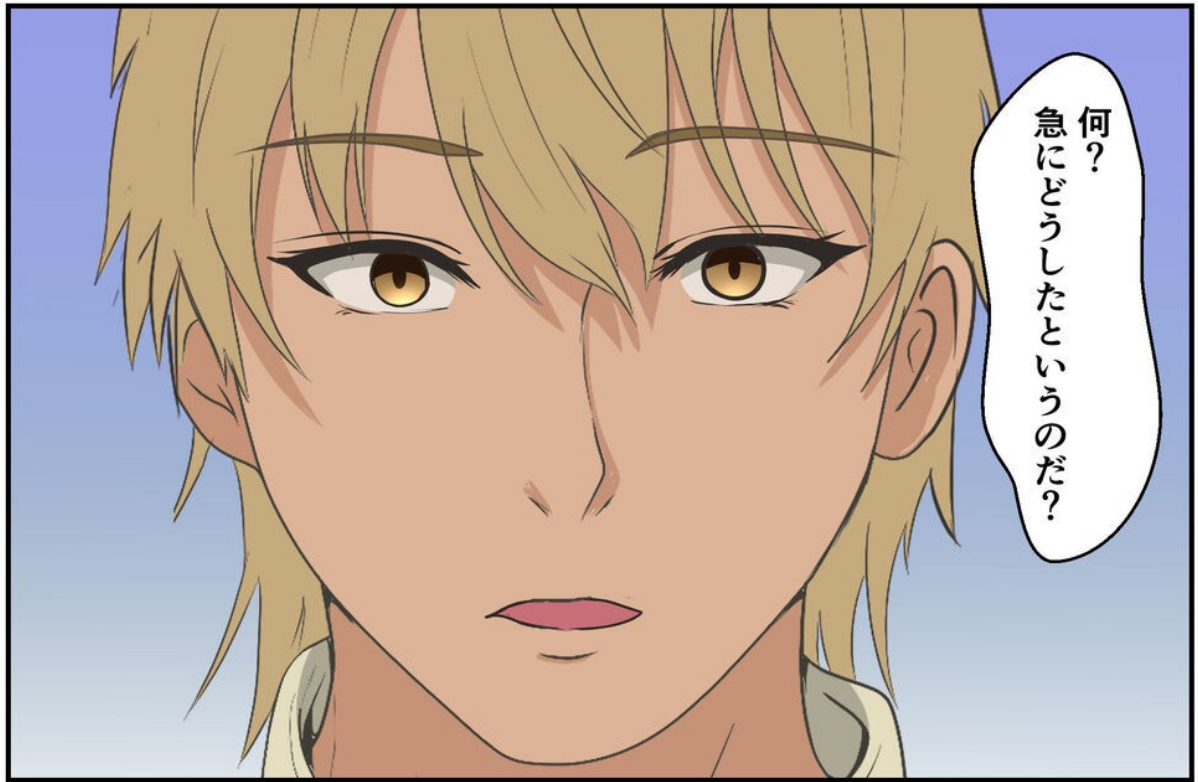
良かったら
なのですが……



何…っ!?

シーファ…?
どうして

無理やり抱かれてるん
じゃなかったのか!?



何?
急にどうしたというのだ?



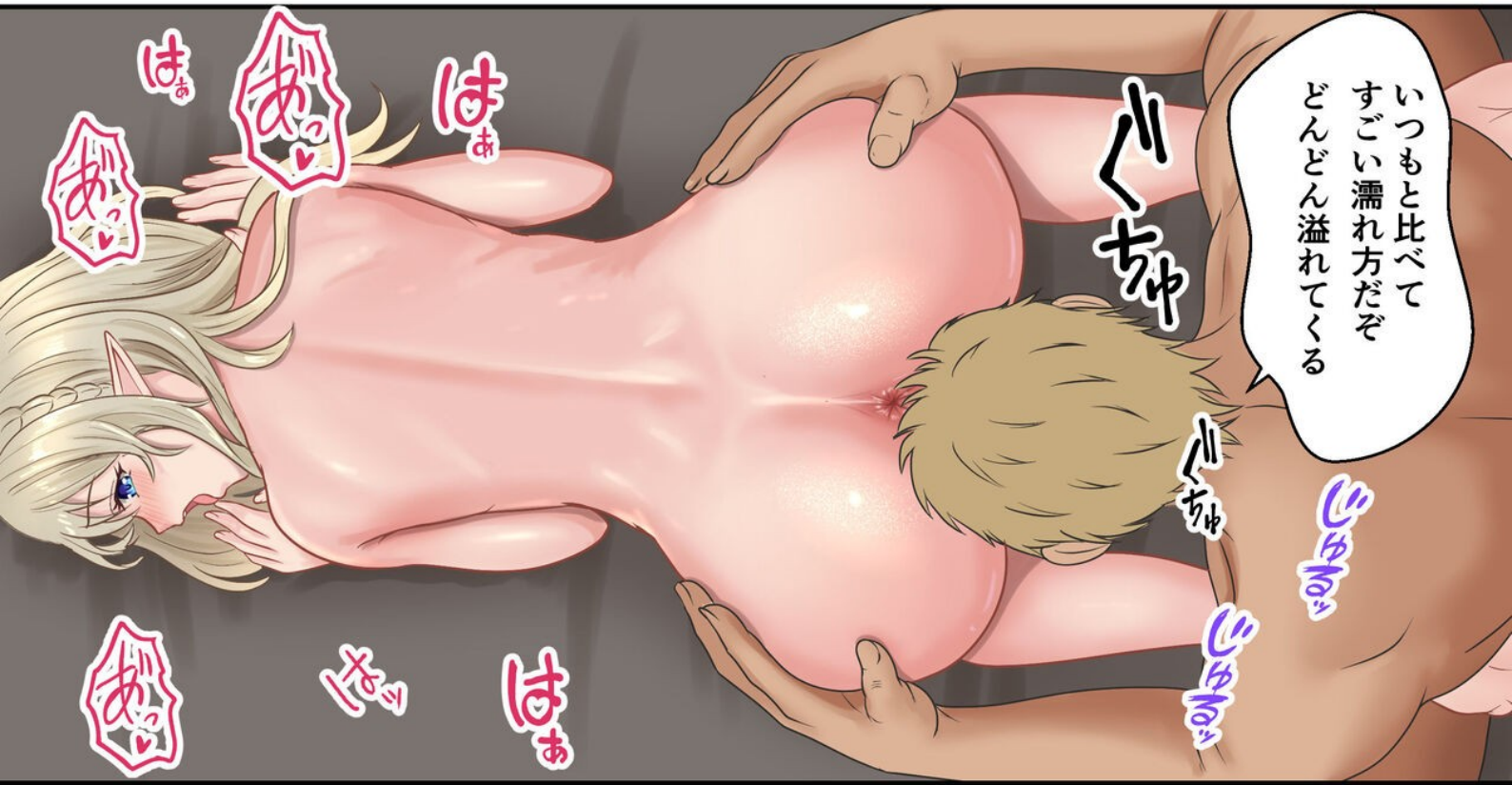
ふむ。
嫌がってると思っていたが、
女心とは分からんものだな。

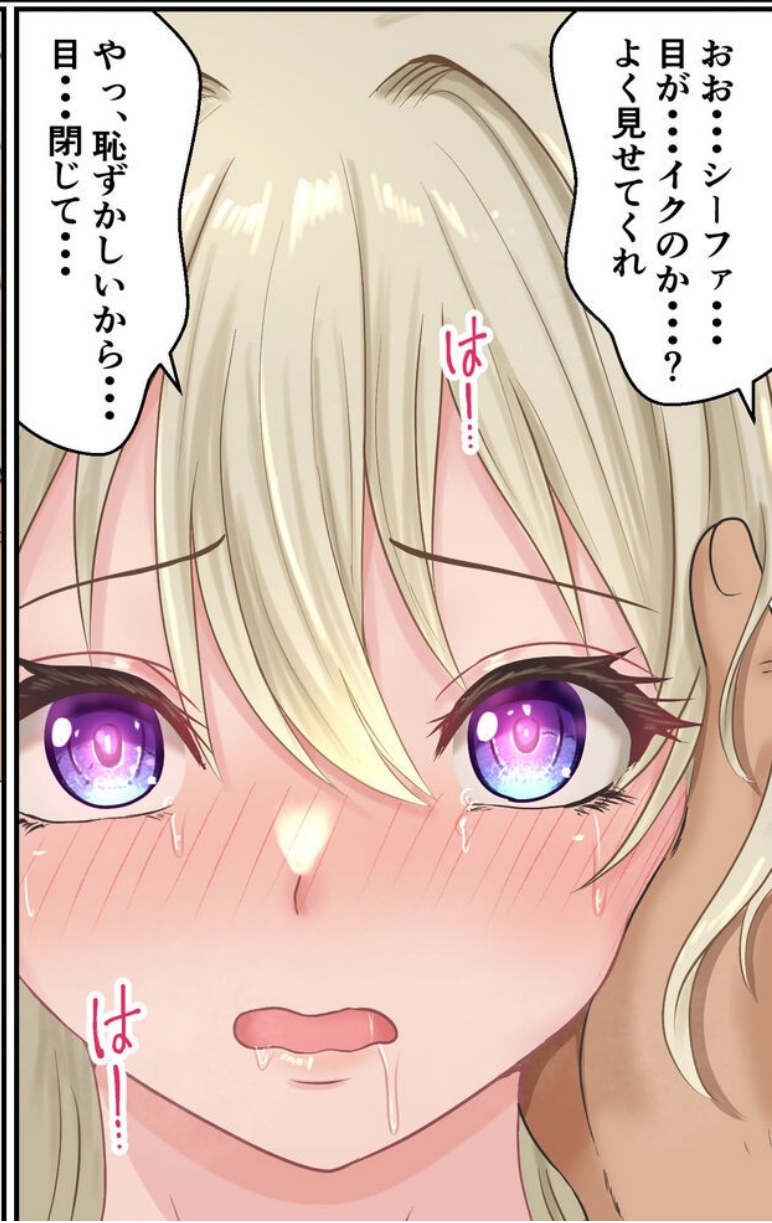
よしわかった。
今夜はたっぷり
可愛がってやる



だって…
最近リーラばかり抱いて…
ずるいです

見るだけで、
ずっと我慢していました







ビクッ

あーっ

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡

はたはた

はたはた



おお・・・美しい！
やっとな俺を
受け入れる気になったか



くっ・・・
なんて締めまりだ・・・

出すぞっ・・・

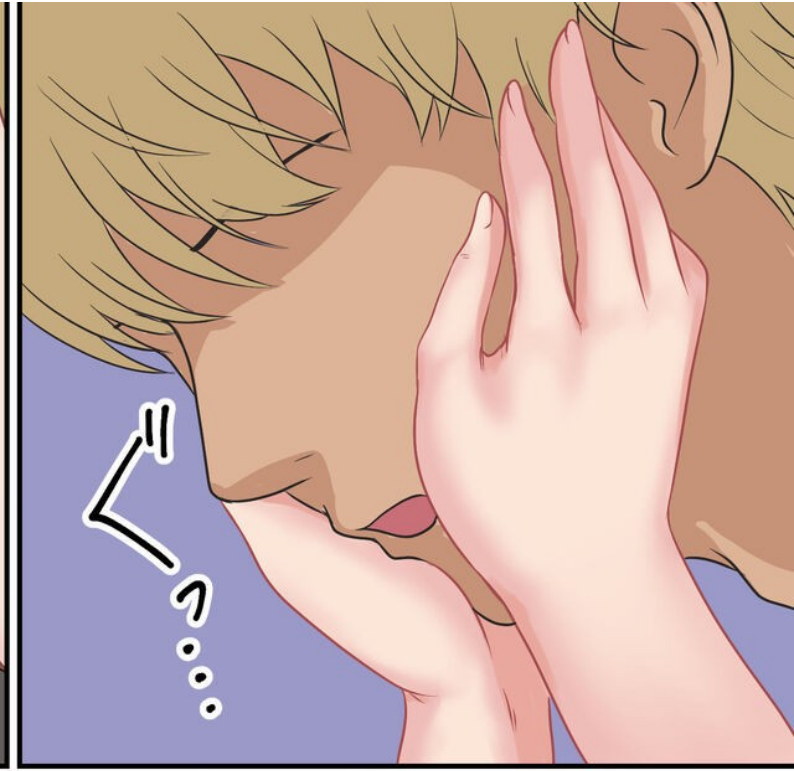


う・・・はっ・・・

イクの・・・
止まらなっ・・・

びんぽん♡

ガッ





おい。シーファの
目が光っている。
これはなんだ？



これは……
本当にシーファなのか……？

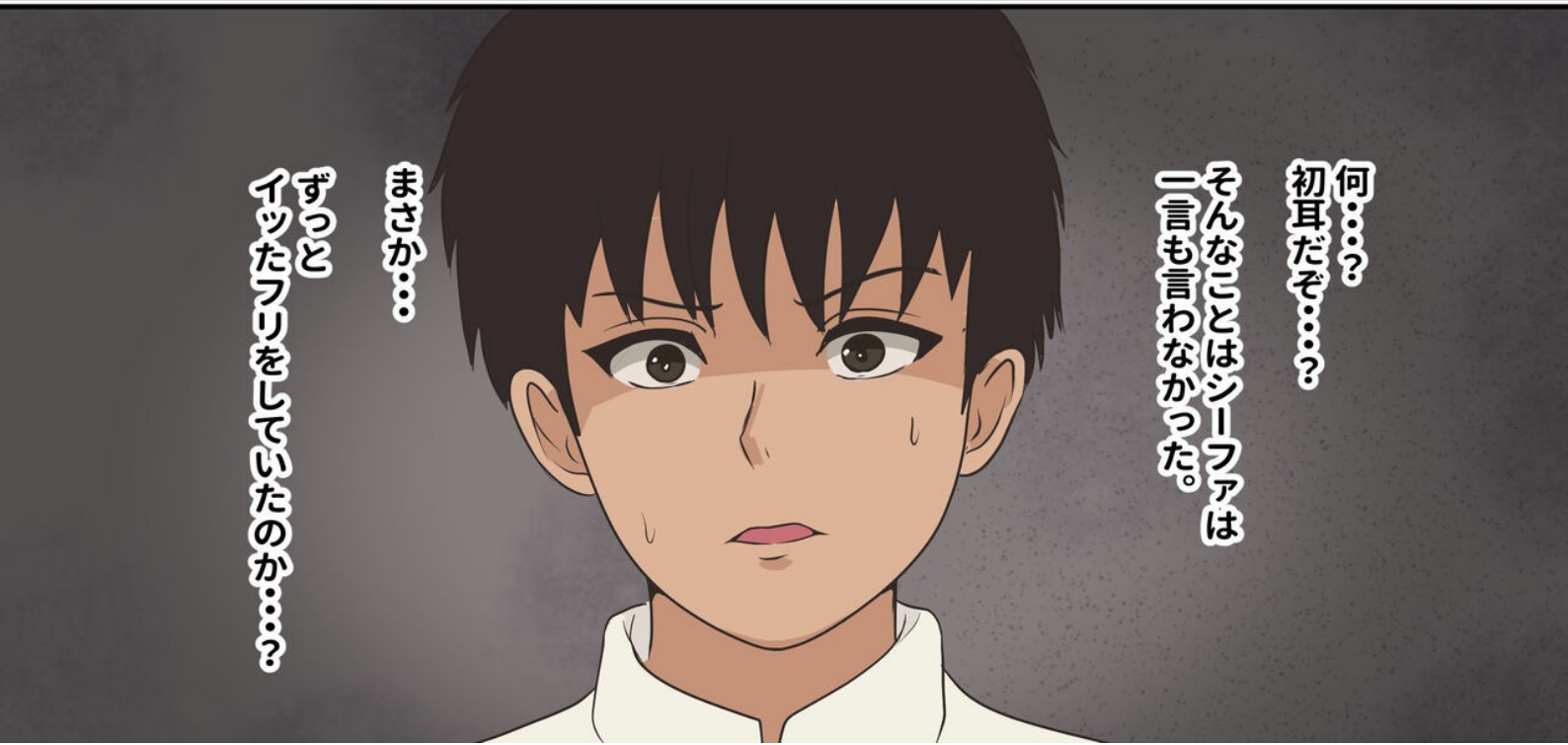
それになんだ？
シーファの目が……？



……？

あの……御存知の通り、
私達エルフは男女の交わりで
絶頂することで排卵いたします。

その際に目が光りますが……



何……？
初耳だぞ……？
そんなことはシーファは
一言も言わなかった。

まさか……
ずっと
イッたフリをしていたのか……？





ずっと我慢してたのお!



全然気持ちよくして
もらえなかったの!



私の身体っ
ジェイス様を求めてるっ

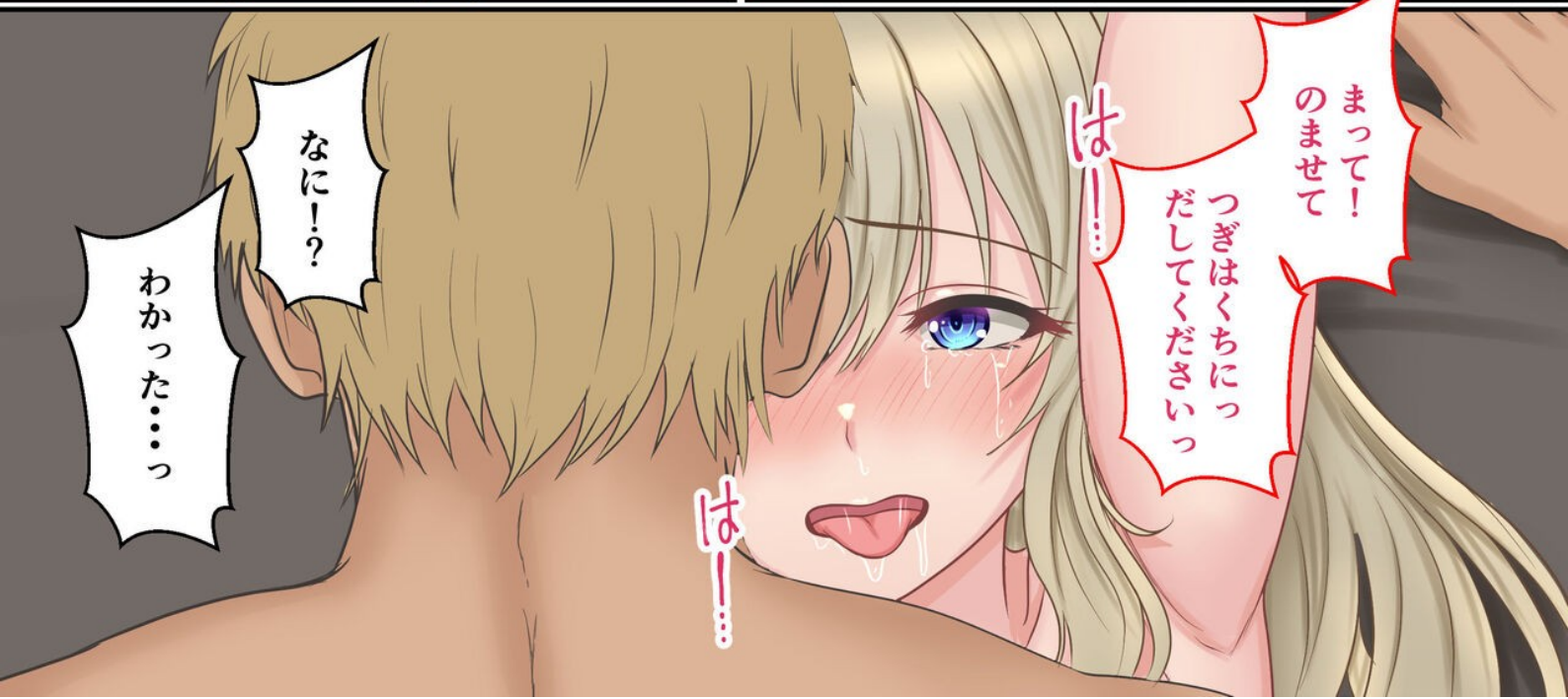
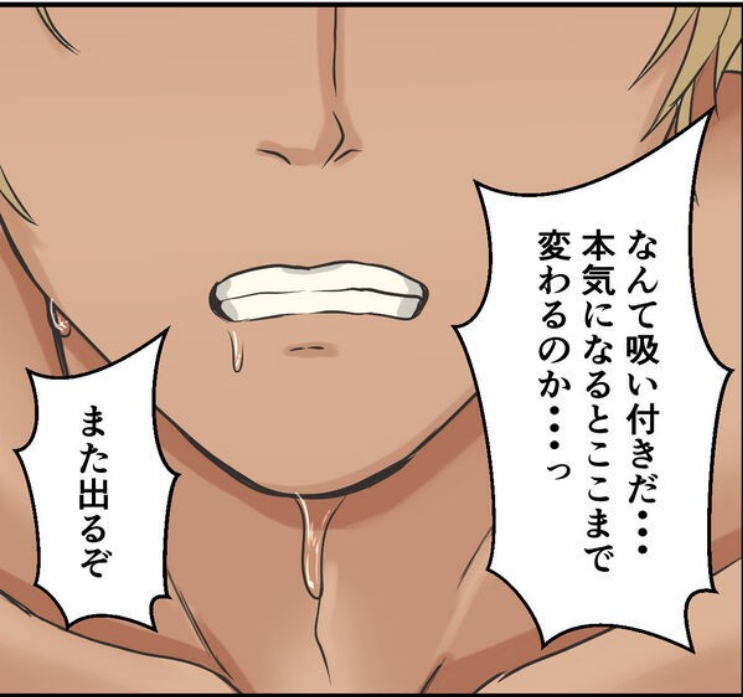
ぬほろっ
ぬほろっ

きつと私...
あなたに会うために
この国に嫁ぎにきたのっ

はは。
エーテルフルーツのせいだ。
本音が全部口に出てるぞ



ちゅっ
ちゅっ







すごくエッチな味です

ふふ...
濃くて男臭くて...

びんぽん♡

はー!!

はー!!

はー!!

びんぽん♡



今度はもう一回
お腹に出して
もらってもいいですか？

また大きく
なっちゃいましたね

はー!!

はー!!

ああ、
何回でもしよう！



あ、まだ出てます...

もったいない...

んく
んく



ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

びんぽん♡



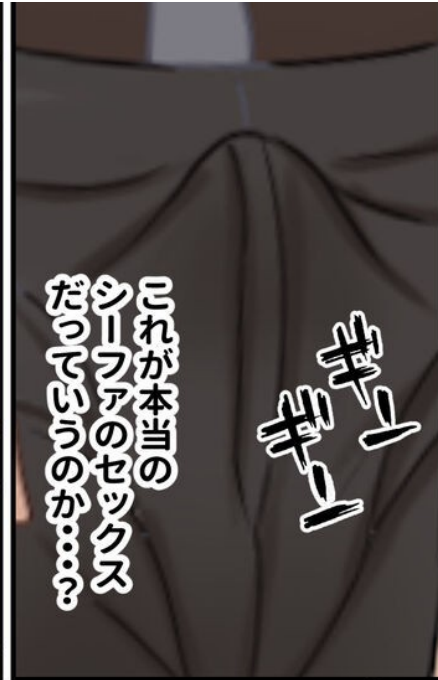
俺の精子を
飲みながら
イッてるのか...

えん
えん



お、俺だって！

ぎりっ



これが本当の
シーファのセックス
だっていうのか……？

ギョギョ



すっすぎる……なんて淫乱な……

おれ♡おれ♡おれ♡
おれ♡おれ♡おれ♡



申し訳ございませんが、
それもお断りいたします。

身体の奉仕はするなど
ジェイス様に言われております。

それに個人的にも……
抱かletたくはありません



俺だって
エルファの一人や二人！
簡単にイカせられるぞ！

リーラ！服を脱げ！
俺が抱いてやる！




私がお慕いしているのは
シーファ様とジェイス様
でございます。

では他に用がないようですので、
失礼させていただきます。



ふざけるな！
俺は王だぞ！

俺のことが好きなんだろう！
イカせて孕ませてやるから
さっさと尻を出せ！



おい……

なんだってんだよ……？

くそっ、誰か！
誰かいないか！

若い女を一人、
部屋によこすんだ！

ネトラレ国王

著者 サンバルキン
発行 サンバルキン
Twitter @sanbalkin1